

環境税課税に伴う人々の行動変化に関する

アンケート調査の結果

1. 調査概要

(1) 目的

環境税が導入された場合のエネルギー消費行動の変化、及び税率の違いによる行動の変化を具体的に明らかにすることを目的とする。

(2) 対象

家庭（一般消費者）

(3) 調査の概要

標本

上記に示すように本調査では税率の違いによる行動の変化を明らかにすることが目的である。平成 12 年度に環境庁「地球温暖化防止のための税の在り方検討会」で行ったアンケート調査では同一の者に対して複数の税率ケースについて質問した場合、「税率が違うのだから、選択を変えるべきであろう」という心理を回答者に生じさせてしまう可能性がある。今回の調査では、調査対象者を 4 つのグループに分け、以下のケースについて、具体的な省エネ行動を取るかどうかについて質問したため、そのようなバイアスは排除されている。

グループ [i] : (レファレンス・ケース) : 環境税が導入されない場合 (税なし)

グループ [ii] : 環境税 (エネルギー価格が 2 % 上昇) が導入された場合 (2 %)

グループ [iii] : 環境税 (エネルギー価格が 10 % 上昇) が導入された場合 (10 %)

グループ [iv] : エネルギー価格が 2 % 上昇した場合 (環境税に関する記載なし)

質問項目

) 心がけ対策の実行に関するもの

心がけ対策に関してはエアコンのフィルターの清掃等、6 つの行動を挙げた。それぞれの行動について、4 つのグループに対して、今後行動を実施するかどうか、また、日頃行動を実施しているかどうかを質問した。

) 機器の選択に関するもの

機器の選択に関してはエアコンや冷蔵庫等、4種の機器を挙げた。4つのグループに対して、従来型と省エネ型の2つの商品の商品価格と年間の電気代等及び環境税額等に関する情報を提示しつつ、いずれの商品を選択するかを質問した。

) エネルギー使用の抑制に関するもの

エネルギー使用の抑制に関しては、ストーブ等の使用時間、照明の点灯時間、テレビの視聴時間、自動車の使用等、7種の行動を挙げた。それぞれについて、課税をしないグループを除く3つのグループに対して、環境税が導入されていない場合に比べ、どの程度節約するかを質問した。

調査実施要領

調査実施要領は次表の通りである。

表 1 調査実施要領

調査実施対象	全国 20 歳以上 1600 人
調査時期	2005 年 7 月 5 日(火) ~ 7 月 13 日(水)
調査方法	インターネットアンケート
回収数	400 人×4 グループ
調査内容	・心がけ対策の実行について(質問数 12) ・機器の選択について(質問数 4) ・エネルギー使用の抑制について(質問数 7)

(4) 分析方法

) 心がけ対策の実行について

日頃実施している心がけ対策に関する回答と、今後実施する心がけ対策に関する回答を比べ、省エネ行動にシフトする人の割合を算定する。そして、シフトする人の割合をグループ間で比較し、環境税の課税が心がけ対策に及ぼす影響について分析する。グループ間での対策実施の割合の違いについては、統計的に有意な差が生じているかどうか比率の有意差検定を行った。

) 機器の選択について

省エネ機器の選択率をグループ間で比較し、環境税の課税が機器の選択に及ぼす影響について分析する。グループ間での機器選択率の違いについては、統計的に有意な差が生じているかどうか比率の有意差検定を行った。

) エネルギー使用の抑制について

設問ではエネルギー使用の抑制率についていくつかの選択肢を用意している。選択肢毎の回答率に対して、抑制率に応じた重み付けを行い、期待される抑制率をグループ毎に算定する。エネルギー使用の抑制期待率をグループ間で比較し、環境税の課税がエネルギー使用の抑制に及ぼす影響について分析する。グループ間での抑制期待率の違いについては、統計的に有意な差が生じているかどうか平均値の有意差検定（F検定とt検定）を行った。

なお、) ~) における検定結果については参考 に示す。本調査では 10% の有意水準による両側検定によって、有意差の有無を判断した。

有意差検定と有意水準

有意差検定とは、アンケート集計の結果からある 2 つの値の間に統計的に意味のある差があるかどうかを判断するものである。意味のある差であるかどうかを示す指標として有意水準を用いる。例えば 5% の有意水準とは両者に差があるという判断は 5% の確率で誤りであるということの意味する。有意水準は危険率とも呼ぶ。

2 . 回答者属性

回答者の主な属性については図 1 ~ 図 7 に示す。属性のうち、性別と年齢の構成についてはグループ間で同一になるように調整した。

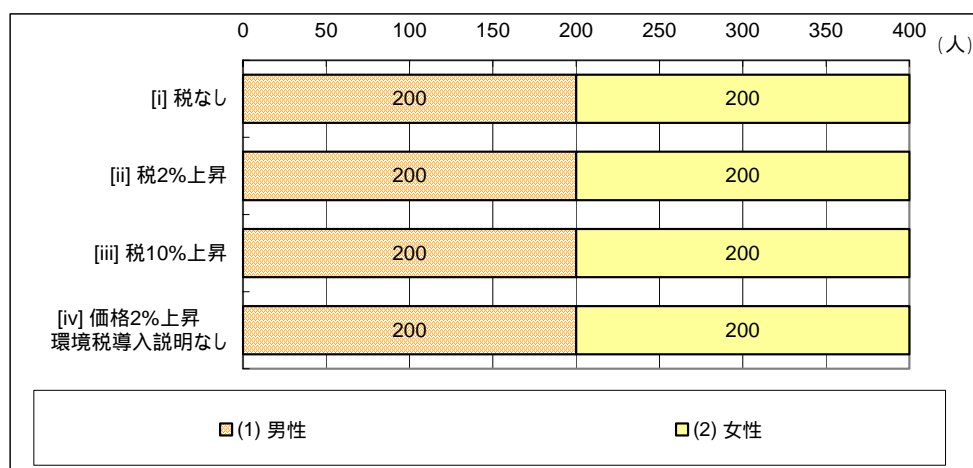


図 1 . 回答者属性（性別）

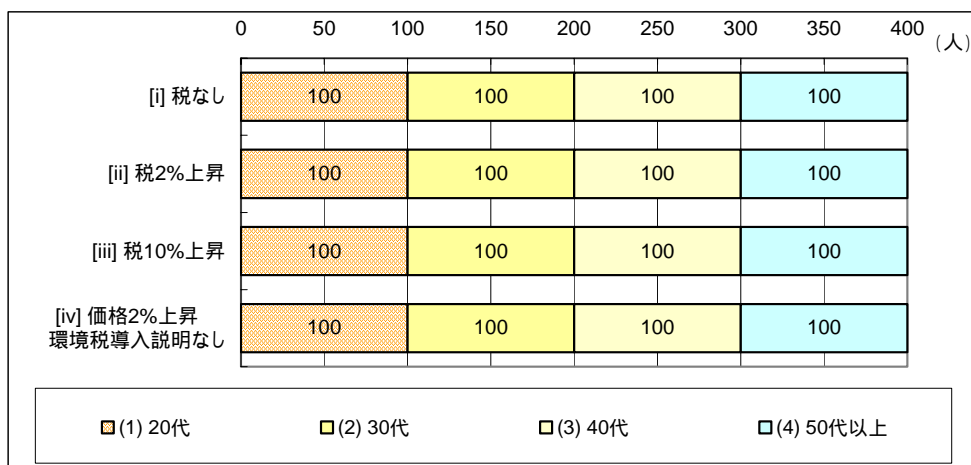


図2. 回答者属性（年齢）

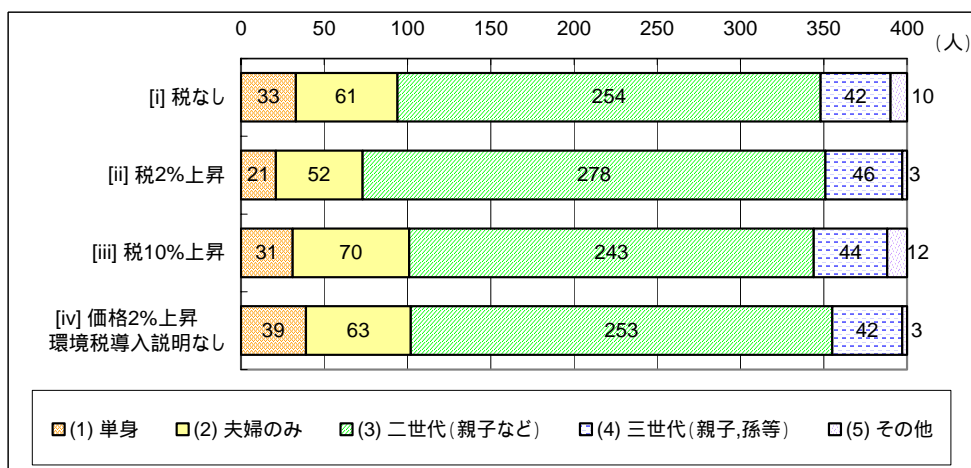


図3. 回答者属性（世帯構成）

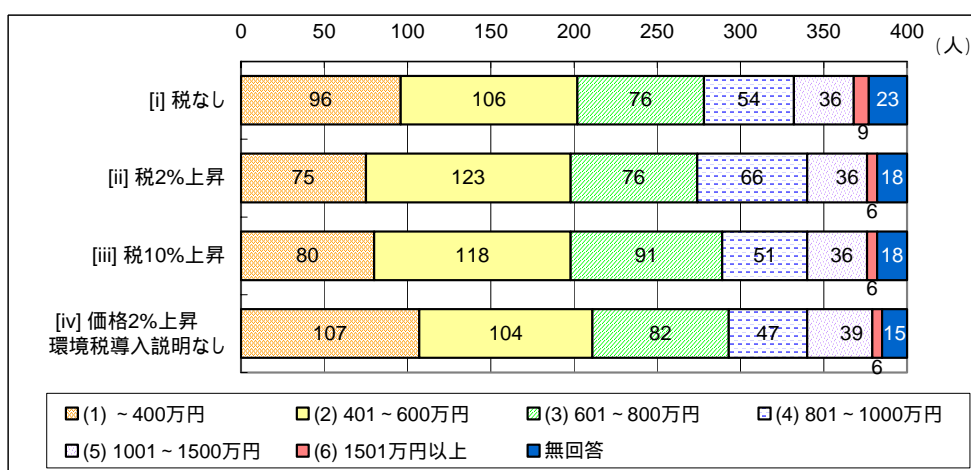


図4. 回答者属性（世帯所得）

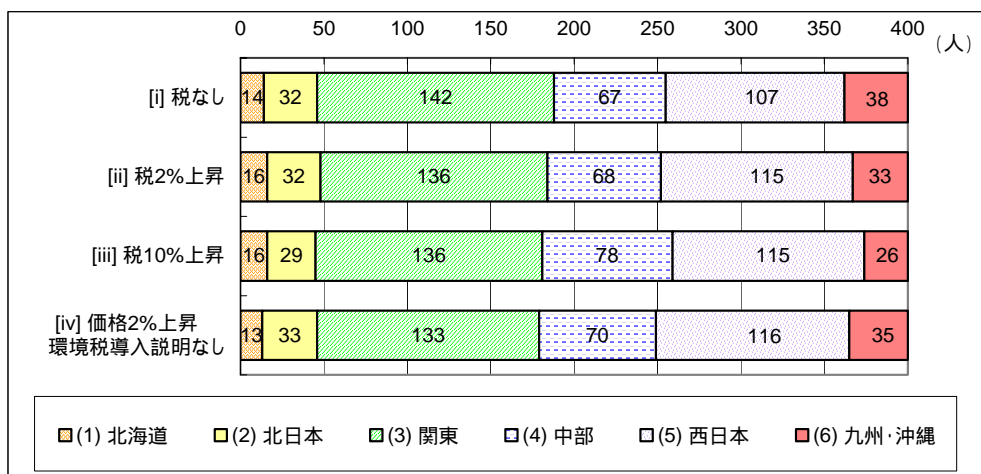


図5. 回答者属性（居住地）

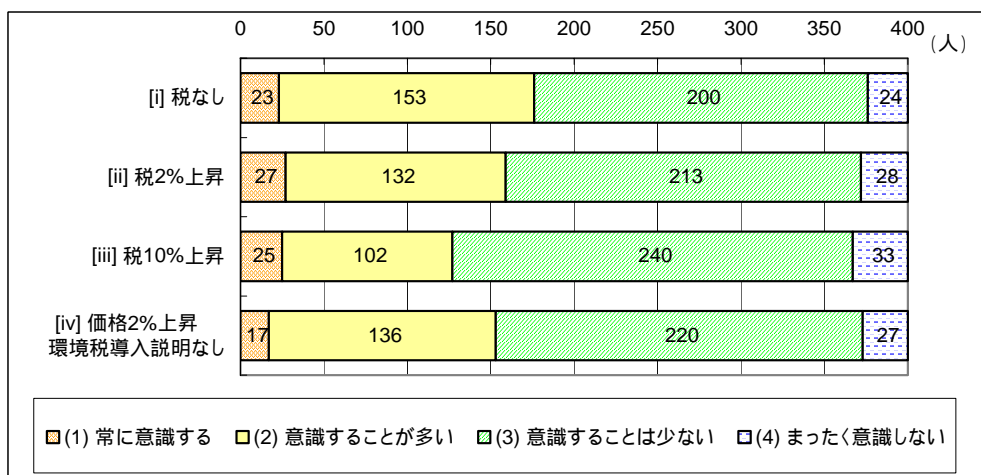


図6. 製品使用時における地球環境問題に対する意識

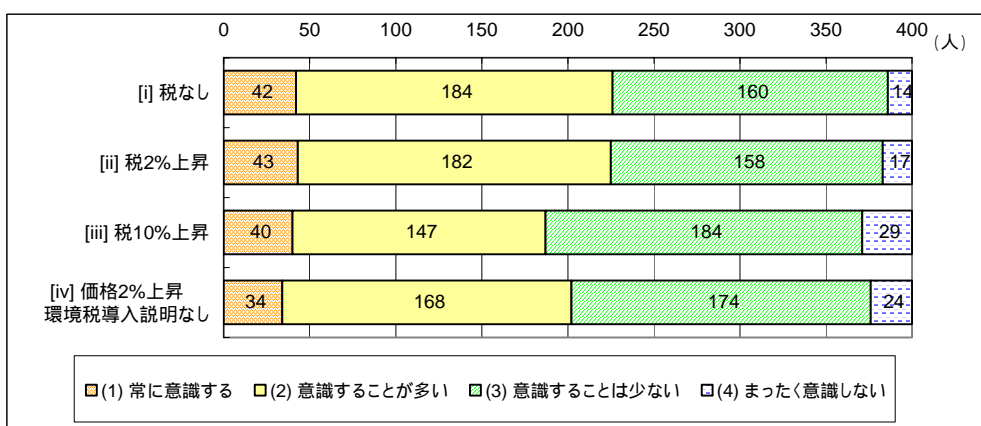


図7. 製品購入時における地球環境問題に対する意識

・どのグループについても製品使用時や購入時に地球温暖化問題を意識する人は半数程度である。

3. 調査結果

1. 心がけ対策の実行に対する影響

I-1: 「エアコン フィルターの掃除」行動に対する影響

【関連する設問】

[i]: 環境税課税なし

Q1: 今後、あなたのご家庭では、以下の行動を実施しますか？

Q11: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[ii]: 税 2% 上昇

Q1: 今後、環境税が導入され電気の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q18: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iii]: 税 10% 上昇

Q1: 今後、環境税が導入され電気の価格が 10% 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q18: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iv]: 価格 2% 上昇

Q1: 今後、電気の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q18: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[選択肢 (共通)]

エアコンを使う季節にはフィルターをこまめに清掃する。

(1) 2 週間に一度は清掃する

(2) 2 週間から 2 ヶ月に一度は清掃する

(3) 2 ヶ月から半年に一度は清掃する

(4) ほとんど清掃しない

(5) わからない

(6) エアコンを持っていない・持っているが使っていない・フィルター掃除が不要な機種である

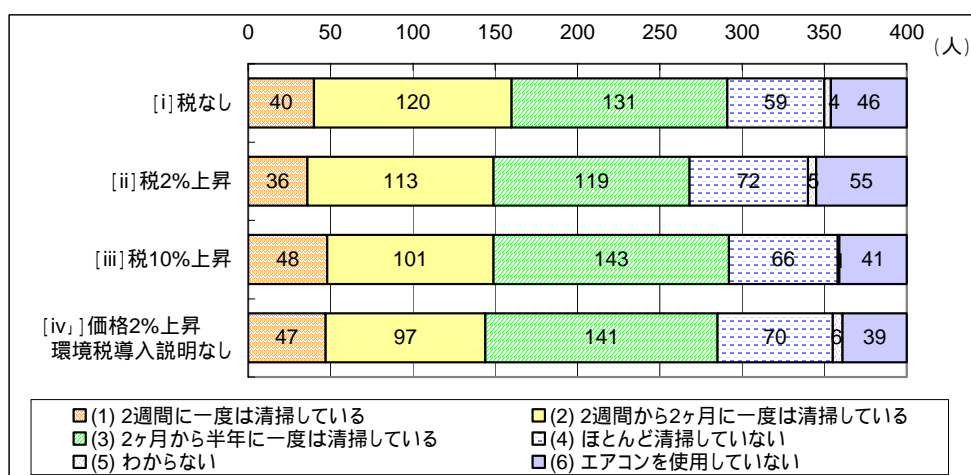
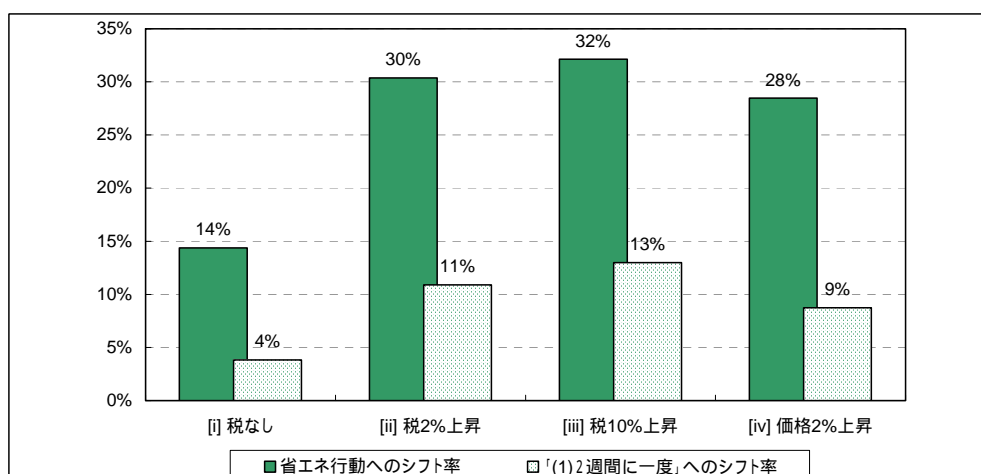


図 8. 日頃の行動に関する回答



注) 算定方法については [参考] を参照

図 9. 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合

- ・ 日頃の行動について 4 つの調査対象グループで大きな偏りは見られない。(図 8)
- ・ 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合については、課税をしないグループ (i) において 14%であるが、環境税に伴いエネルギー価格が 2%上昇するグループ (ii) では 30%となり、iと比べ大幅に増加している。エネルギー価格が 10%上昇するグループ (iii) はiiと同程度である。「(1)2 週間に一度」へシフトすると回答した人に限定した場合についても、同様の傾向が見られる。低率の課税であっても、高率の課税と同程度、省エネ行動の選択率を増加させている。(図 9)
- ・ エネルギー価格が 2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では 30%が省エネ行動にシフトしており、そうでない場合 (iv) は 28%である。環境税グループ(ii)がそうでないグループ (iv) を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。(図 9)

I-2 : 「エアコン プラグ抜き」行動に対する影響

【関連する設問】

[i]: 環境税課税なし

Q2 : 今後、あなたのご家庭では、以下の行動を実施しますか？

Q12: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[ii]: 税 2% 上昇

Q2: 今後、環境税が導入され電気の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q19 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iii]: 税 10% 上昇

Q2 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 10% 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q19 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iv]: 価格 2% 上昇

Q2 : 今後、電気の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q19 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[選択肢 (共通)]

エアコンを使わない季節はコンセントからプラグを抜く。またはブレーカー()をおとす。() ご家庭の配電盤にエアコン用コンセントに対応するブレーカーがある場合

- (1) 必ず実行する
- (2) ときどき実行する
- (3) ほとんど実行しない
- (4) わからない
- (5) エアコンを持っていない

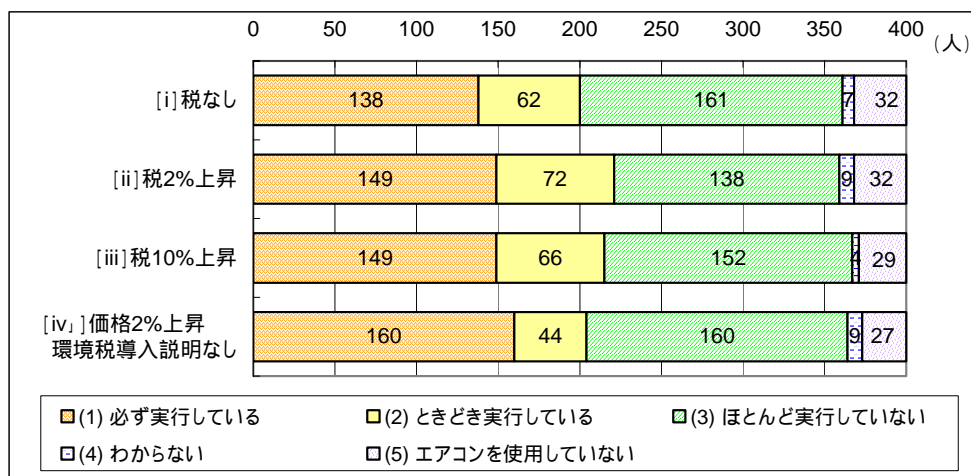
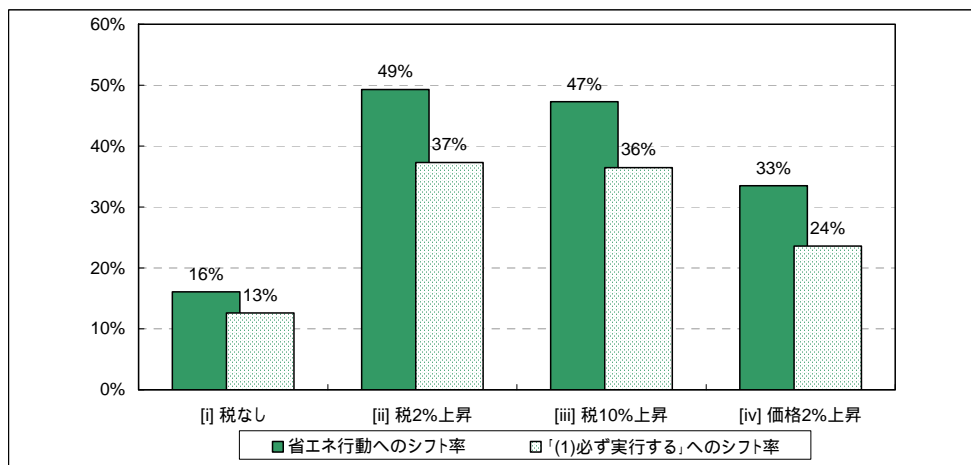


図 10. 日頃の行動に関する回答



注) 算定方法については [参考] 参照

図 11. 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合

- ・ 日頃の行動について 4 つの調査対象グループで大きな偏りは見られない。(図 10)
- ・ 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合については、課税をしないグループ (i) において 16% であるが、環境税に伴いエネルギー価格が 2% 上昇するグループ (ii) では 49% となり、i と比べ大幅に増加している。エネルギー価格が 10% 上昇するグループ (iii) は ii と同程度である。「(1) 必ず実行する」へシフトすると回答した人に限定した場合についても、同様の傾向が見られる。低率の課税であっても、高率の課税と同程度、省エネ行動の選択率を増加させている。(図 11)
- ・ エネルギー価格が 2% 上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では 49% が省エネ行動へシフトしており、そうでない場合 (iv) の 33% を上回り、統計的に有意な差が生じている。エネルギー価格上昇が「エアコン プラグ抜き」行動を促進する効果に関し、環境税によるエネルギー価格の上昇と、その他の原因によるエネルギー価格の上昇とは異なる結果を示した。(図 11)

I-3 : 「冷蔵庫にものを詰め込みすぎない」行動に対する影響

【関連する設問】

[i]: 環境税課税なし

Q3 : 今後、あなたのご家庭では、以下の行動を実施しますか？

Q13: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[ii]: 税 2% 上昇

Q3 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q20 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iii]: 税 10% 上昇

Q3 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 10% 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q20 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iv]: 価格 2% 上昇

Q3 : 今後、電気の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q20 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[選択肢 (共通)]

冷蔵庫にものを詰め込みすぎず、余裕のある状態を保つ。

- (1) いつも余裕のある状態を保っている
- (2) ときどき目一杯詰め込んでいる
- (3) いつも目一杯詰め込んでいる
- (4) わからない
- (5) 冷蔵庫を持っていない・持っているが使っていない

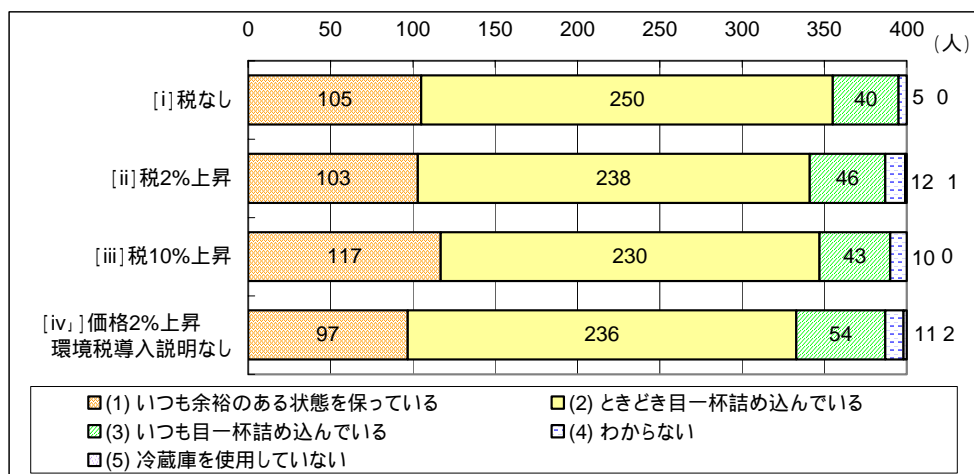
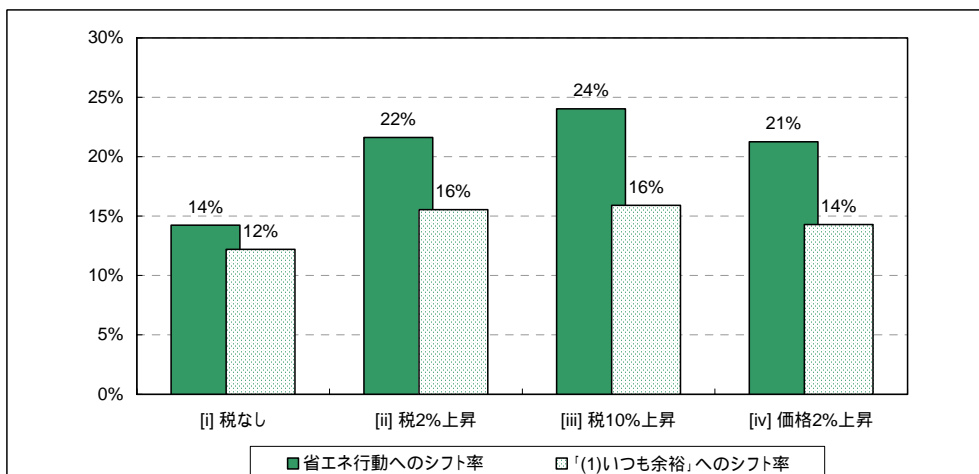


図 12. 日頃の行動に関する回答



注) 算定方法については [参考] を参照

図 13. 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合

- ・ 現状の行動について4つの調査対象グループで大きな偏りは見られない。(図 12)
- ・ 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合については、課税をしないグループ (i) において14%であるが、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ (ii) では22%となり、iと比べ大幅に増加している。エネルギー価格が10%上昇するグループ (iii) はiiと同程度である。低率の課税であっても、高率の課税と同程度、省エネ行動の選択率を増加させている。なお、「(1)いつも余裕がある状態を保つ」にシフトした人に限定した場合には、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ (ii) は16%となり、課税をしないグループ (i) の12%を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では22%が「いつも余裕がある状態を保つ」にシフトしており、そうでない場合 (iv) は21%である。環境税グループ(ii)がそうでないグループ (iv) を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。(図 13)

I-4:「シャワーヘッドを節水タイプにする」行動に対する影響

【関連する設問】

[i]: 環境税課税なし

Q4: 今後、あなたのご家庭では、以下の行動を実施しますか？

Q14: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[ii]: 税 2% 上昇

Q4: 今後、環境税が導入されガスや電気の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q21: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iii]: 税 10% 上昇

Q4: 今後、環境税が導入されガスや電気の価格が 10% 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q21: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iv]: 価格 2% 上昇

Q4: 今後、ガスや電気の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q21: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[選択肢 (今後)]

シャワーヘッドを節水タイプ () にする。

() 手で止水出来るタイプも含まれます。

- (1) 既に節水タイプを使用している
- (2) 今後は節水タイプを使用する
- (3) 今後も節水タイプを使用しない
- (4) わからない
- (5) シャワーが設置されていない・設置されているが使っていない

[選択肢 (日頃)]

シャワーヘッドを節水タイプ () にする。

() 手で止水出来るタイプも含まれます。

- (1) 節水タイプを使用している
- (2) 節水タイプを使用していない
- (3) わからない
- (4) シャワーが設置されていない・設置されているが使っていない

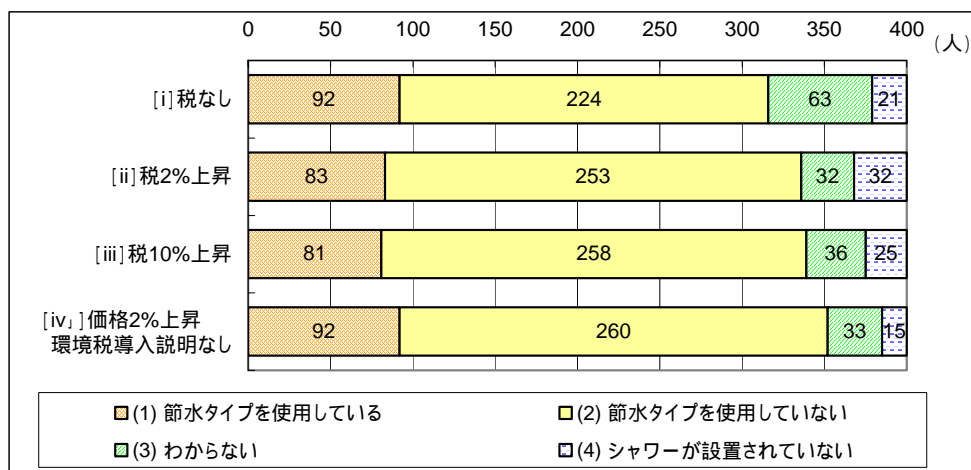
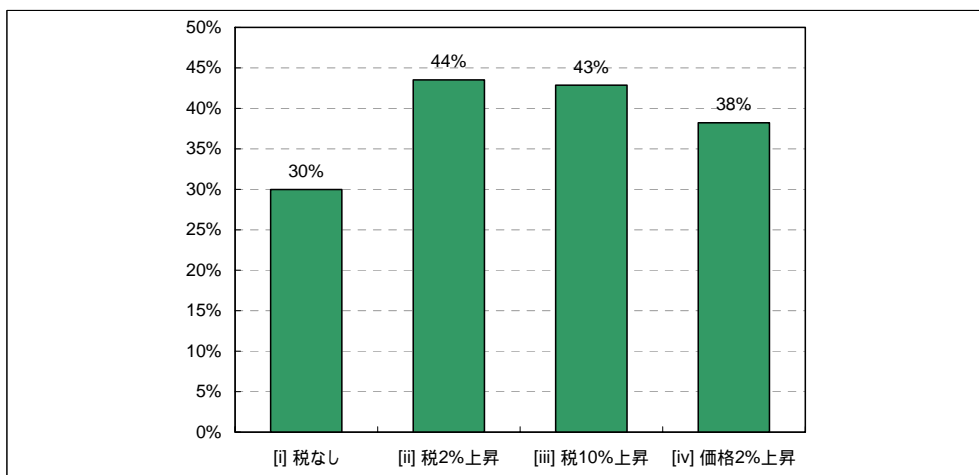


図 14. 日頃の行動に関する回答



注) 算定方法については [参考] を参照

図 15. 省エネ行動(「今後は節水シャワーヘッドを使用する」)へシフトすると回答した人の割合

- ・ 現状の行動について4つの調査対象グループで大きな偏りは見られない。(図 14)
- ・ 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合については、課税をしないグループ(i)において30%であるが、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ(ii)では44%となり、iと比べ大幅に増加している。エネルギー価格が10%上昇するグループ(iii)はiiと同程度である。低率の課税であっても、高率の課税と同程度、省エネ行動の選択率を増加させている。(図 15)
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合(ii)では44%が「今後は節水型に変える」にシフトしており、そうでない場合(iv)は38%である。環境税グループ(ii)がそうでないグループ(iv)を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。(図 15)

I-5 : 「アイドリングストップ」行動に対する影響

【関連する設問】

[i]: 環境税課税なし

Q5 : 今後、あなたのご家庭では、以下の行動を実施しますか？

Q15: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[ii]: 税 2% 上昇

Q5 : 今後、環境税が導入されガソリンや軽油の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q22 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iii]: 税 10% 上昇

Q5 : 今後、環境税が導入されガソリンや軽油の価格が 10% 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q22 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iv]: 価格 2% 上昇

Q5 : 今後、ガソリンや軽油の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q22 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[選択肢 (共通)]

駐停車中 () に自動車のアイドリングはしない。

() 信号待ちや踏切待ちの状態は含みません。

(1) 必ず実行する

(2) ときどき実行する

(3) まったく実行しない

(4) わからない

(5) 自動車を持っていない・持っているが自分では運転していない

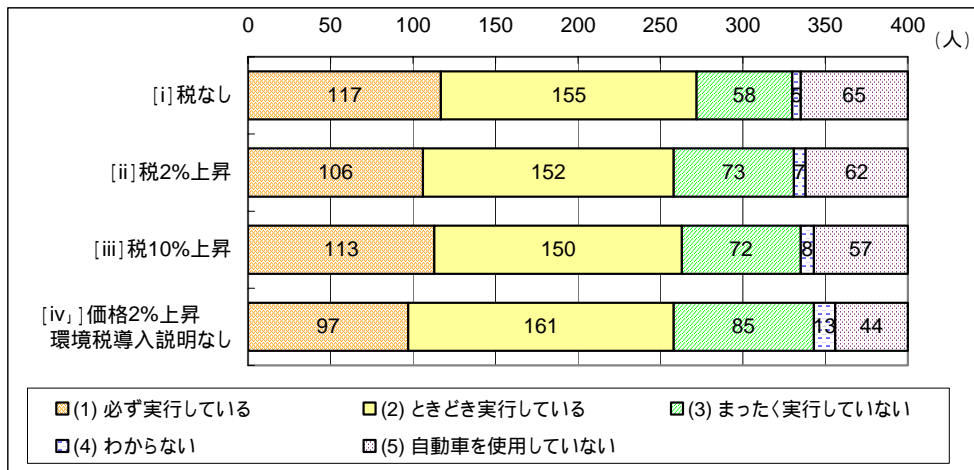
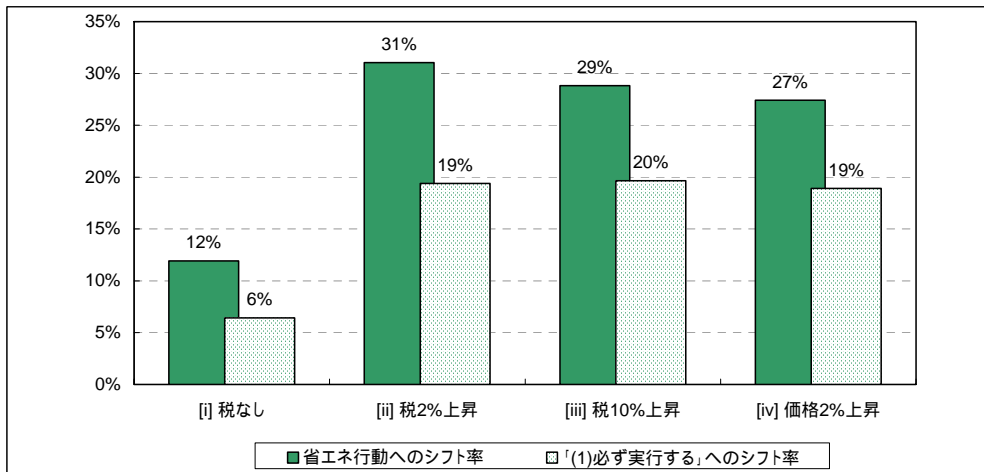


図 16. 日頃の行動に関する回答



注) 算定方法については [参考] を参照

図 17. 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合

- ・ 現状の行動について 4 つの調査対象グループで大きな偏りは見られない。(図 16)
- ・ 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合については、課税をしないグループ (i) において 12% であるが、環境税に伴いエネルギー価格が 2% 上昇するグループ (ii) では 31% となり、i と比べ大幅に増加している。エネルギー価格が 10% 上昇するグループ (iii) は ii と同程度である。「(1) 必ず実行する」へシフトすると回答した人に限定した場合についても、同様の傾向が見られる。低率の課税であっても、高率の課税と同程度、省エネ行動の選択率を増加させている。(図 17)
- ・ エネルギー価格が 2% 上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では 31% が省エネ行動にシフトしており、そうでない場合 (iv) は 27% である。環境税グループ (ii) がそうでないグループ (iv) を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。(図 17)

I-6 : 「タイヤ空気圧の調整」行動に対する影響

【関連する設問】

[i]: 環境税課税なし

Q6 : 今後、あなたのご家庭では、以下の行動を実施しますか？

Q16: 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[ii]: 税 2% 上昇

Q6 : 今後、環境税が導入されガソリンや軽油の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q23 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iii]: 税 10% 上昇

Q6 : 今後、環境税が導入されガソリンや軽油の価格が 10% 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q23 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[iv]: 価格 2% 上昇

Q6 : 今後、ガソリンや軽油の価格が 2 % 上昇した場合、あなたのご家庭では、以下の行動を実行しますか？

Q23 : 日頃、あなたのご家庭では、以下の行動を実施していますか？

[選択肢 (共通)]

自動車のタイヤの空気圧を調整する。

(1) 1 ヶ月に一度は調整する

(2) 半年に一度は調整する

(3) ほとんど調整しない

(4) わからない

(5) 自動車を持っていない・持っているが自分では運転していない

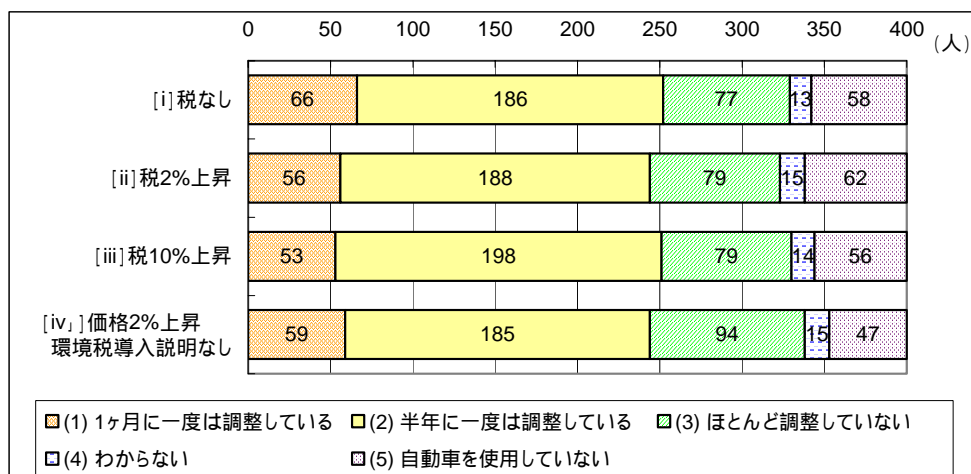
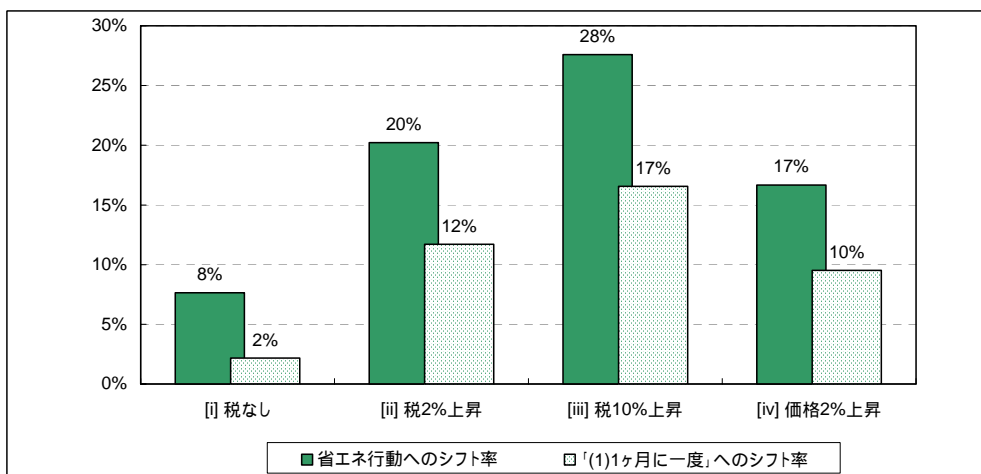


図 18. 日頃の行動に関する回答



注) 算定方法については [参考] を参照

図 19. 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合

- ・ 現状の行動について4つの調査対象グループで大きな偏りは見られない。(図 18)
- ・ 省エネ行動へシフトすると回答した人の割合については、課税をしないグループ (i) において 8%であるが、環境税に伴いエネルギー価格が 2%上昇するグループ (ii) では 20%となり、iと比べ大幅に増加している。エネルギー価格が 10%上昇するグループ (iii) では 28%になり、iiよりもさらに増加している。低率の課税であっても、省エネ行動の選択率を十分に増加させている。(図 19)
- ・ エネルギー価格が 2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では 20%が省エネ行動にシフトしており、そうでない場合 (iv) は 17%である。環境税グループ(ii)がそうでないグループ (iv) を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。(図 19)

・ 機器の選択に対する影響

QII-1：エアコンの選択に対する影響

【関連する設問】

Q7：あなたのご家庭では、故障や寿命のために、エアコンの買い替えを検討しているとします。

商品には下表に示す2つがあるとします。

【エアコン A】は、商品価格は安いですが、省エネ性能が低いため、年間電気代（や環境税）が高くなる商品です。

【エアコン B】は、商品価格は高いが、省エネ性能が高いため、年間電気代（や環境税）が安くなる商品です。2つの商品で機能やデザインは同じとします。

あなたは【エアコン A】と【エアコン B】のいずれを購入しますか？

- (1) エアコン A を購入する
- (2) どちらかと言えばエアコン A を購入する
- (3) どちらかと言えばエアコン B を購入する
- (4) エアコン B を購入する
- (5) わからない
- (6) エアコンを持っていない・持っているが使っていない

[A]: 環境税課税なし	【エアコン A】	【エアコン B】
商品価格（円）	110,000	150,000
年間電気代（円/年）	24,000	20,000

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[B]: 税 2% 上昇	【エアコン A】	【エアコン B】
商品価格（円）	110,000	150,000
年間電気代（円/年）	24,480	20,400
うち環境税（円/年）	480	400

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[C]: 税 10% 上昇	【エアコン A】	【エアコン B】
商品価格（円）	110,000	150,000
年間電気代（円/年）	26,400	22,000
うち環境税（円/年）	2,400	2,000

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[D]: 価格 2% 上昇	【エアコン A】	【エアコン B】
商品価格（円）	110,000	150,000
年間電気代（円/年）	24,480	20,400

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

（注）年間電気代は電気価格の上昇分を含みます。

【Q7 に対する回答】

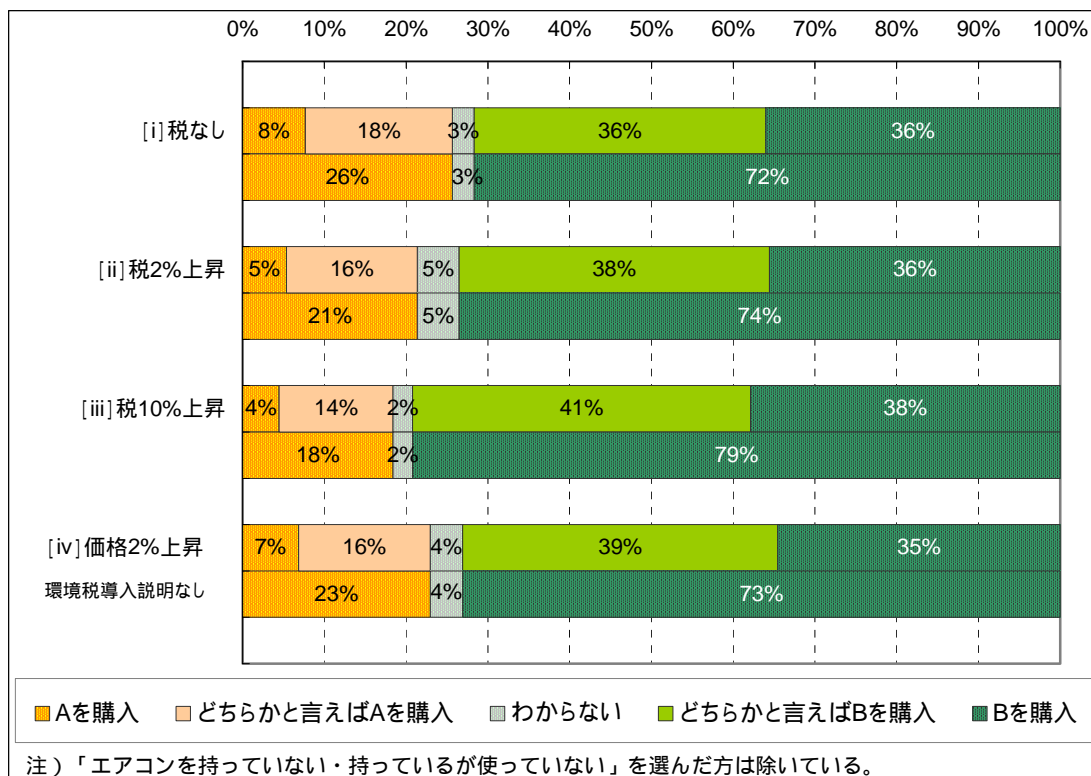


図 20. エアコンの機器選択

- ・ 課税をしないグループ (i) と環境税によってエネルギー価格が 2%上昇するグループ (ii) において、Bを購入すると回答した人の割合 (「どちらかと言えばBを購入」 + 「Bを購入」) はそれぞれ 72%と 74%であり、ほぼ同程度である。エアコンの場合、低率の課税は省エネ機器の選択にあまり影響を与えていない。
- ・ Bを購入すると回答した人の割合は 10%上昇した場合 (iii) では 79%となり、グループiiよりも選択率が高まっている。税率の上昇とともに省エネ製品の選択率が上がっている。
- ・ エネルギー価格が 2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では 74%、そうでない場合 (iv) には 73%がBを選択している。環境税グループ(ii)がそうでないグループ (iv) を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。

QII-2：冷蔵庫の選択に対する影響

【関連する設問】

Q8：あなたのご家庭では、故障や寿命のために、冷蔵庫の買い替えを検討しているとします。

商品には下表に示す2つがあるとします。

【冷蔵庫A】は、商品価格は安いですが、省エネ性能が低いため、年間電気代（や環境税）が高くなる商品です。

【冷蔵庫B】は、商品価格は高いが、省エネ性能が高いため、年間電気代（や環境税）が安くなる商品です。2つの商品で機能やデザインは同じとします。

あなたは【冷蔵庫A】と【冷蔵庫B】のいずれを購入しますか？

- (1) 冷蔵庫Aを購入する
- (2) どちらかと言えば冷蔵庫Aを購入する
- (3) どちらかと言えば冷蔵庫Bを購入する
- (4) 冷蔵庫Bを購入する
- (5) わからない
- (6) 冷蔵庫を持っていない・持っているが使っていない

[A]: 環境税課税なし	【冷蔵庫A】	【冷蔵庫B】
商品価格（円）	120,000	145,000
年間電気代（円/年）	6,000	3,500

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[B]: 税2%上昇	【冷蔵庫A】	【冷蔵庫B】
商品価格（円）	120,000	145,000
年間電気代（円/年）	6,120	3,570
うち環境税（円/年）	120	70

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[C]: 税10%上昇	【冷蔵庫A】	【冷蔵庫B】
商品価格（円）	120,000	145,000
年間電気代（円/年）	6,600	3,850
うち環境税（円/年）	600	350

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[D]: 価格2%上昇	【冷蔵庫A】	【冷蔵庫B】
商品価格（円）	120,000	145,000
年間電気代（円/年）	6,120	3,570

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

（注）年間電気代は電気価格の上昇分を含みます。

【Q8 に対する回答】

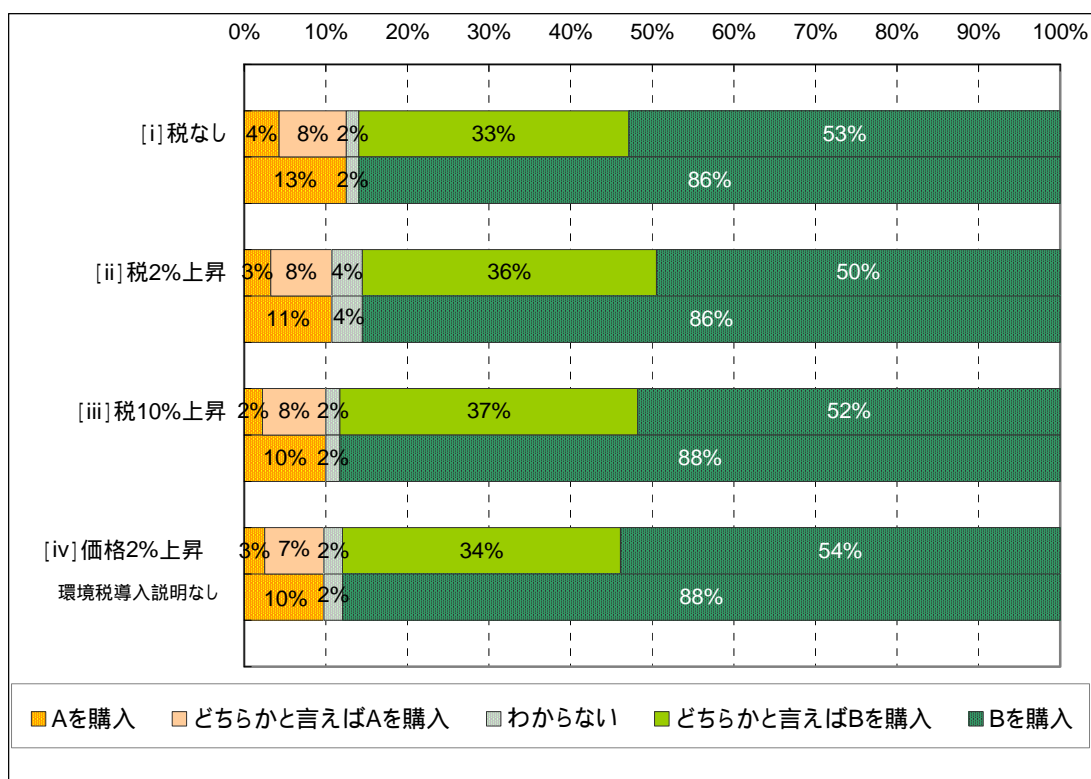


図 21. 冷蔵庫の機器選択

- ・ 課税をしないグループ (i) と環境税によってエネルギー価格が 2%上昇するグループ (ii) において、Bを購入すると回答した人の割合（「どちらかと言えばBを購入」 + 「Bを購入」）はそれぞれ 86%と 86%であり、ほぼ同程度である。さらにエネルギー価格が 10%上昇するグループ (iii) でも 88%と同程度である。冷蔵庫の場合、税率の変化が機器効率の変化にあまり影響を与えていない。
- ・ エネルギー価格が 2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では 86%、そうでない場合 (iv) には 88%がBを選択しており、AもBも両グループで同程度選択されている。

QII-3：テレビの選択に対する影響

【関連する設問】

Q9：あなたのご家庭では、故障や寿命のために、テレビの買い替えを検討しているとします。

商品には下表に示す2つがあるとします。

【テレビA】は、商品価格は安いですが、省エネ性能が低いため、年間電気代（や環境税）が高くなる商品です。

【テレビB】は、商品価格は高いが、省エネ性能が高いため、年間電気代（や環境税）が安くなる商品です。2つの商品で機能やデザインは同じとします。

あなたは【テレビA】と【テレビB】のいずれを購入しますか？

- (1) テレビAを購入する
- (2) どちらかと言えばテレビAを購入する
- (3) どちらかと言えばテレビBを購入する
- (4) テレビBを購入する
- (5) わからない
- (6) テレビを持っていない・持っているが使っていない

[A]: 環境税課税なし	【テレビA】	【テレビB】
商品価格（円）	50,000	54,000
年間電気代（円/年）	4,400	4,000

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[B]: 税2%上昇	【テレビA】	【テレビB】
商品価格（円）	50,000	54,000
年間電気代（円/年）	4,488	4,080
うち環境税（円/年）	88	80

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[C]: 税10%上昇	【テレビA】	【テレビB】
商品価格（円）	50,000	54,000
年間電気代（円/年）	4,840	4,400
うち環境税（円/年）	440	400

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

[D]: 価格2%上昇	【テレビA】	【テレビB】
商品価格（円）	50,000	54,000
年間電気代（円/年）	4,488	4,080

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

（注）年間電気代は電気価格の上昇分を含みます。

【Q9 に対する回答】

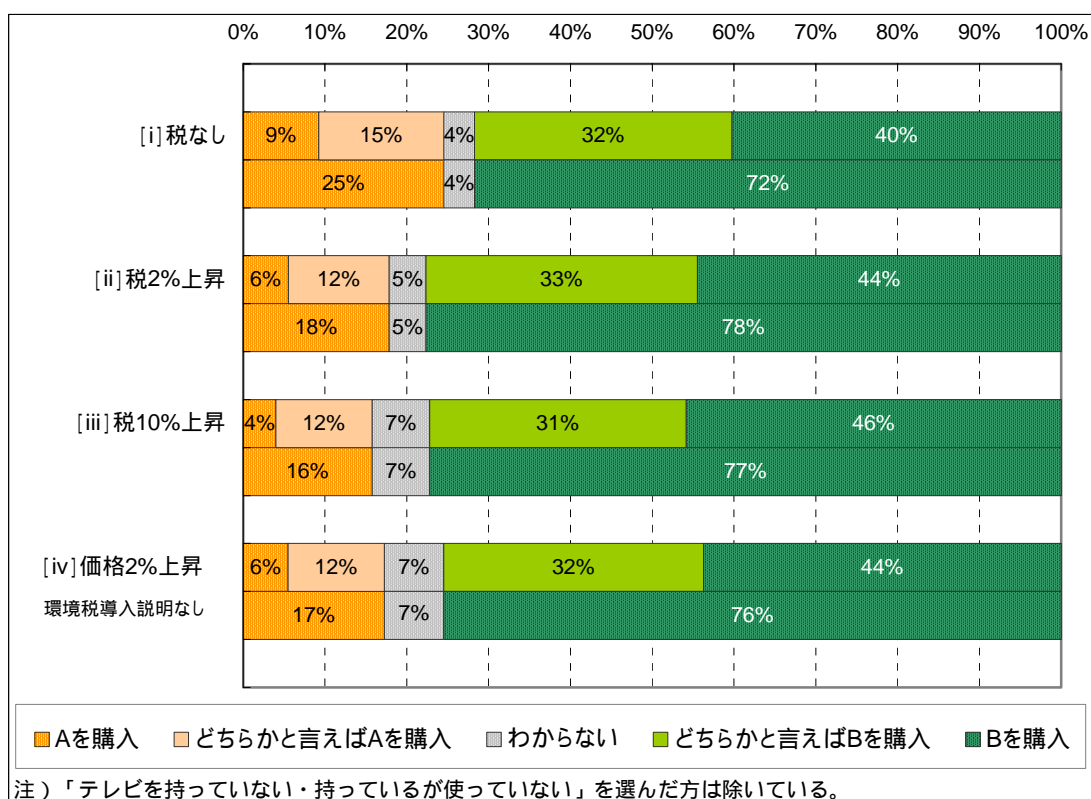


図 22. テレビの機器選択

- ・ 環境税によってエネルギー価格が 2%上昇するグループ (ii) において、Bを購入すると回答した人の割合(「どちらかと言えばBを購入」+「Bを購入」)は 78%であり、課税をしないグループ(i)を上回っている。10%上昇した場合 (iii) ではBを購入すると回答した人の割合は 77%であり、iiの場合と同程度である。低率の課税であっても、高率の炭素税と同程度に省エネ機器の選択率を増加させている
- ・ エネルギー価格が 2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では 78%、そうでない場合 (iv) には 76%がBを選択している。環境税グループ(ii)がそうでないグループ (iv) を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。

QII-4：乗用車の選択に対する影響

【関連する設問】

Q10：あなたのご家庭では、故障や寿命のために、乗用車の買い替えを検討しているとします。

商品には下表に示す2つがあるとします。

【乗用車 A】は、商品価格は安いですが、省エネ性能が低いため、年間電気代（や環境税）が高くなる商品です。

【乗用車 B】は、商品価格は高いが、省エネ性能が高いため、年間電気代（や環境税）が安くなる商品です。2つの商品で機能やデザインは同じとします。

あなたは【乗用車 A】と【乗用車 B】のいずれを購入しますか？

- (1) 乗用車 A を購入する
- (2) どちらかと言えば乗用車 A を購入する
- (3) どちらかと言えば乗用車 B を購入する
- (4) 乗用車 B を購入する
- (5) わからない
- (6) 乗用車を持っていない・持っているが自分では運転しない

【A】：環境税課税なし	【乗用車 A】	【乗用車 B】
商品価格（円）	2,000,000	2,500,000
年間ガソリン代（円／年）	100,000	50,000

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

【B】：税 2% 上昇	【乗用車 A】	【乗用車 B】
商品価格（円）	2,000,000	2,500,000
年間ガソリン代（円／年）	102,000	51,000
うち環境税（円／年）	2,000	1,000

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

【C】：税 10% 上昇	【乗用車 A】	【乗用車 B】
商品価格（円）	2,000,000	2,500,000
年間ガソリン代（円／年）	110,000	55,000
うち環境税（円／年）	10,000	5,000

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

【D】：価格 2% 上昇	【乗用車 A】	【乗用車 B】
商品価格（円）	2,000,000	2,500,000
年間ガソリン代（円／年）	102,000	51,000

（注）商品価格および年間電気代は消費税を含みます。

（注）年間電気代は電気価格の上昇分を含みます。

【Q10 に対する回答】

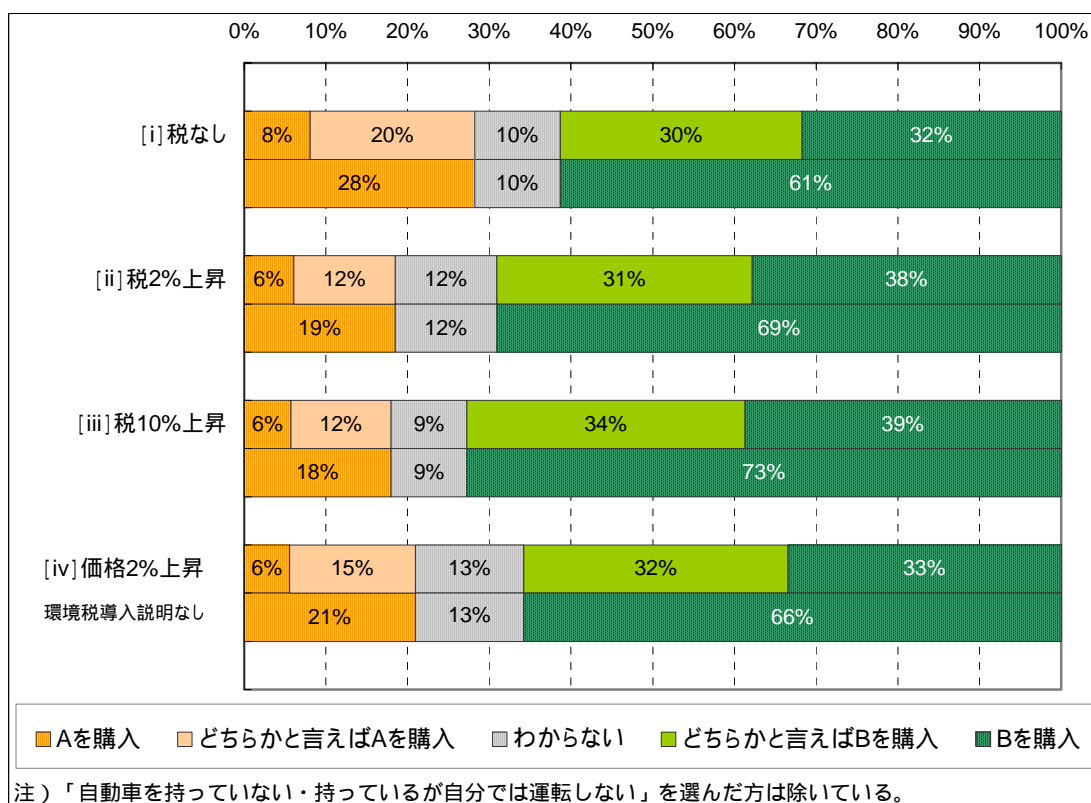


図 23. 乗用車の機器選択

- ・ 環境税によってエネルギー価格が 2%上昇するグループ (ii) において、Bを購入すると回答した人の割合(「どちらかと言えばBを購入」+「Bを購入」)は 69%であり、課税をしないグループ(i)の 61%を上回っている。低率の課税であっても、省エネ行動の選択率を十分に増加させている。
- ・ Bを購入すると回答した人の割合は 10%上昇した場合 (iii) では 73%となり、低率の環境税の場合 (ii) よりも選択率が高まっているが、統計的には有意な差とは言い難い。
- ・ エネルギー価格が 2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合 (ii) では 69%、そうでない場合 (iv) には 66%がBを選択している。環境税グループ(ii)の方がそうでないグループ(iv)を上回っているものの統計的に有意な差とは言い難い。

．エネルギー使用の抑制に対する影響

III-1：「夏季のエアコンの使用時間・冷房強度の抑制」に対する影響

【関連する設問】

[A]: 環境税課税なし
設問なし

[B]: 税 2%上昇

Q11：今後、環境税が導入され電気の価格が2%上昇した場合、ご家庭での夏季におけるエアコンの使用時間や冷房強度を、あなたはどの程度控えますか？

[C]: 税 10%上昇

Q11：今後、環境税が導入され電気の価格が10%上昇した場合、ご家庭での夏季におけるエアコンの使用時間や冷房強度を、あなたはどの程度控えますか？

[D]: 価格 2%上昇

Q11：今後、電気の価格が2%上昇した場合、ご家庭での夏季におけるエアコンの使用時間や冷房強度を、あなたはどの程度控えますか？

[選択肢 (共通)]

- (1) かなり控える (10% よりも多く)
- (2) 控える (6 ~ 10% 程度)
- (3) すこし控える (1 ~ 5% 程度)
- (4) 今と変わらない
- (5) わからない
- (6) エアコンを持っていない・持っているが使っていない

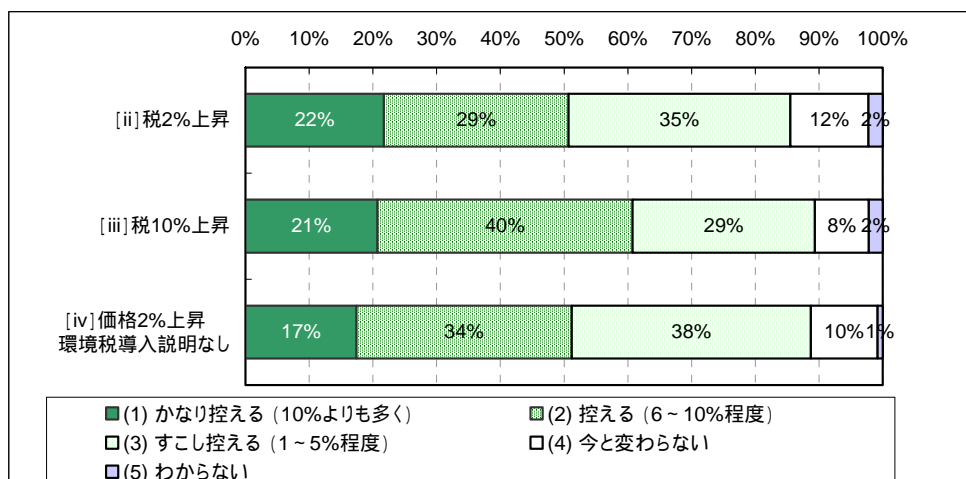
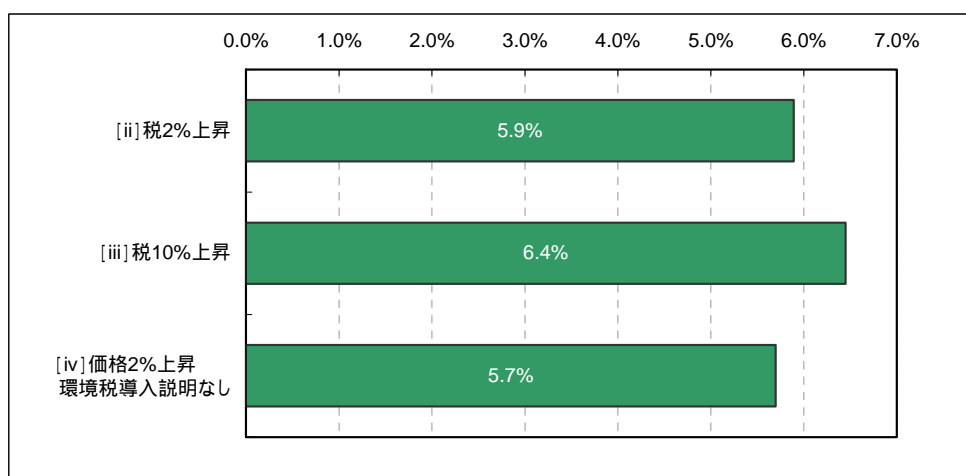


図 24. 夏季のエアコン使用の抑制



算定方法) 抑制期待率について「かなり控える」場合は12.5%、「控える」場合は7.5%、「すこし控える」場合は2.5%と想定。抑制率にそれぞれの回答率を掛け合わせ抑制期待率を算定。

図 25. 夏季のエアコン使用の抑制期待率

- ・ 「かなり控える」と回答した人は、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ(ii)では22%、エネルギー価格が10%上昇するグループ(iii)では21%である。抑制期待率ではiiの場合に5.9%、iiiの場合で6.4%である。抑制期待率は高率課税の場合(iii)が低率課税の場合(ii)を上回っているが、低率の課税の場合にはエネルギー価格の上昇率を上回る抑制期待率が現れている。
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合(ii)では抑制期待率は5.9%であり、そうでない場合(iv)は5.7%である。環境税グループ(ii)がそうでないグループ(iv)を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。

III-2 : 「冬季のエアコンの使用時間・暖房強度の抑制」に対する影響

【関連する設問】

[A] : 環境税課税なし
設問なし

[B] : 税 2% 上昇

Q12 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭での冬季におけるエアコンの使用時間や暖房強度を、あなたはどの程度控えますか？

[C] : 税 10% 上昇

Q12 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 10% 上昇した場合、ご家庭での冬季におけるエアコンの使用時間や暖房強度を、あなたはどの程度控えますか？

[D] : 価格 2% 上昇

Q12 : 今後、電気の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭での冬季におけるエアコンの使用時間や暖房強度を、あなたはどの程度控えますか？

[選択肢 (共通)]

- (1) かなり控える (10% よりも多く)
- (2) 控える (6 ~ 10% 程度)
- (3) すこし控える (1 ~ 5% 程度)
- (4) 今と変わらない
- (5) わからない
- (6) エアコンを持っていない・持っているが使っていない

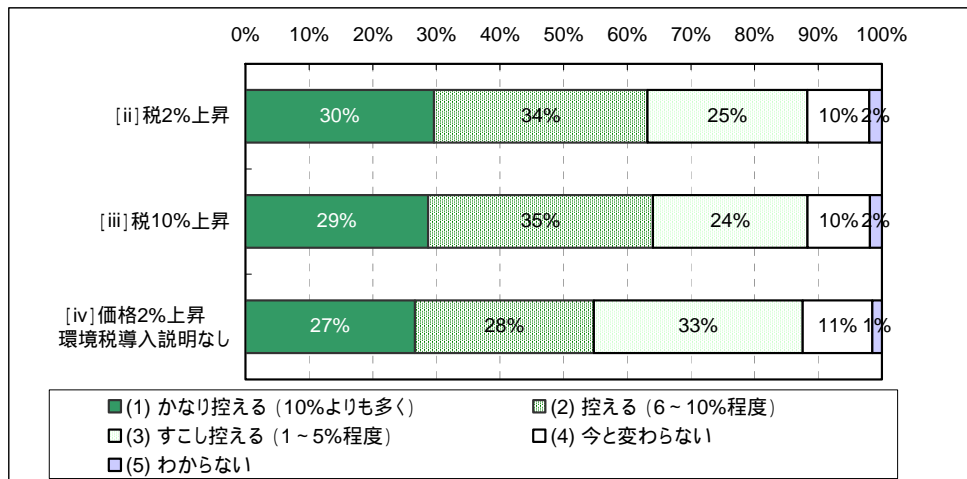
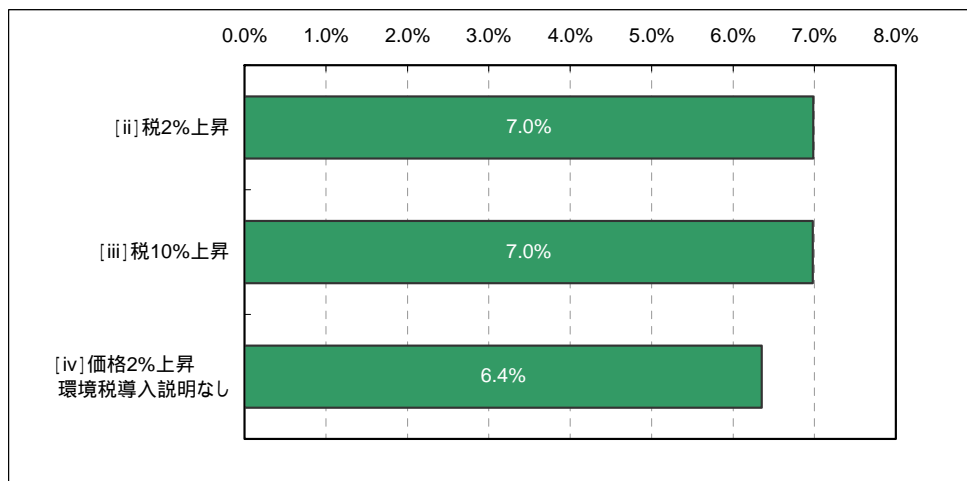


図 26. 冬季のエアコン使用の抑制



算定方法) 抑制期待率について「かなり控える」場合は12.5%、「控える」場合は7.5%、「すこし控える」場合は2.5%と想定。抑制率にそれぞれの回答率を掛け合わせ抑制期待率を算定。

図 27. 冬季のエアコン使用の抑制期待率

- ・ 「かなり控える」と回答した人は、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ(ii)では30%、エネルギー価格が10%上昇するグループ(iii)では29%である。抑制期待率ではiiの場合に7.0%、iiiの場合で7.0%である。低率の課税にはエネルギー価格の上昇率を上回る抑制期待率が現れる。そして、その割合は高率の課税の場合(iii)の抑制率と同程度である。
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合(ii)では抑制期待率は7.0%であり、そうでない場合(iv)は6.4%である。エネルギー価格上昇が冬季のエアコン使用の抑制行動を促進する効果に関し、環境税によるエネルギー価格の上昇と、その他の原因によるエネルギー価格の上昇とは異なる結果を示した。

III-3 : 「ストーブ・ファンヒーターの使用の抑制」に対する影響

【関連する設問】

[A] : 環境税課税なし
設問なし

[B] : 税 2% 上昇

Q13 : 今後、環境税が導入されガスや灯油の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭でのストーブやファンヒーターの使用を、あなたはどの程度控えますか？

[C] : 税 10% 上昇

Q13 : 今後、環境税が導入されガスや灯油の価格が 10% 上昇した場合、ご家庭でのストーブやファンヒーターの使用を、あなたはどの程度控えますか？

[D] : 価格 2% 上昇

Q13 : 今後、ガスや灯油の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭でのストーブやファンヒーターの使用を、あなたはどの程度控えますか？

[選択肢 (共通)]

- (1) かなり控える (10% よりも多く)
- (2) 控える (6 ~ 10% 程度)
- (3) すこし控える (1 ~ 5% 程度)
- (4) 今と変わらない
- (5) わからない
- (6) ストーブやファンヒーターを持っていない・持っているが使っていない

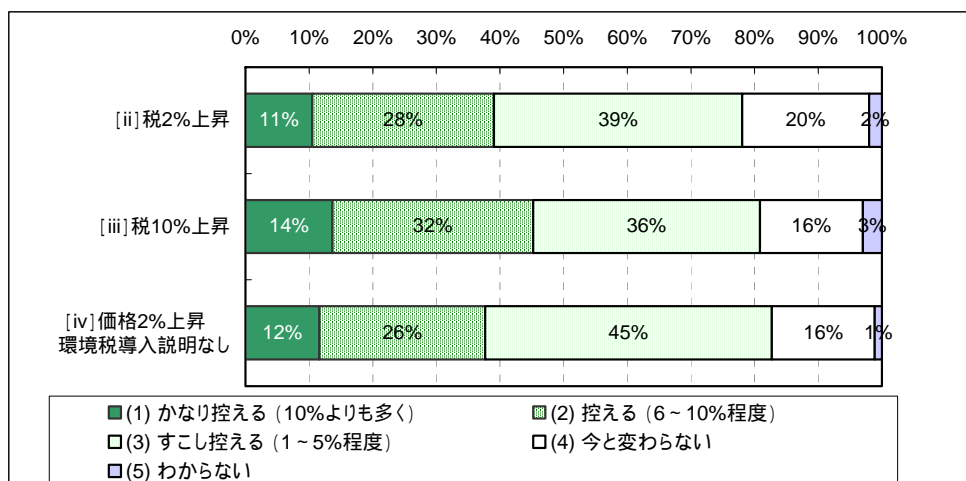
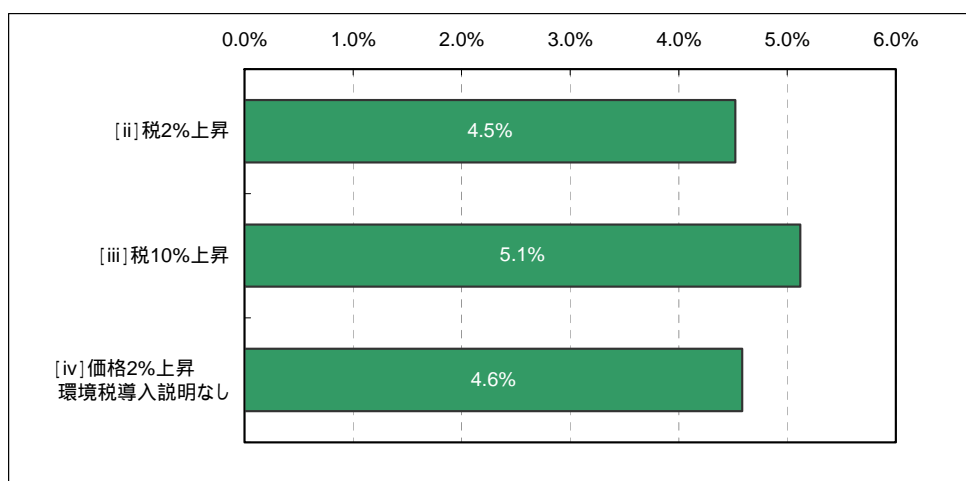


図 28. ストープ・ファンヒーター使用の抑制



算定方法) 抑制期待率について「かなり控える」場合は12.5%、「控える」場合は7.5%、「すこし控える」場合は2.5%と想定。抑制率にそれぞれの回答率を掛け合わせ抑制期待率を算定。

図 29. ストープ・ファンヒーター使用の抑制率

- ・ 「かなり控える」と回答した人は、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ(ii)では11%、エネルギー価格が10%上昇するグループ(iii)では14%である。抑制期待率ではiiの場合に4.5%、iiiの場合で5.1%である。抑制期待率は高率課税の場合(iii)が低率課税の場合(ii)を上回っているが、低率の課税の場合にはエネルギー価格の上昇率を上回る抑制率が現れている。
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合(ii)では抑制期待率は4.5%、そうでない場合(iv)は4.6%である。環境税グループ(ii)の方とそうでないグループ(iv)の抑制期待率は同程度である。

III-4 : 「照明の点灯時間の抑制」に対する影響

【関連する設問】

[A] : 環境税課税なし
設問なし

[B] : 税 2% 上昇

Q14 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭での照明の点灯時間を、あなたはどの程度控えますか？

[C] : 税 10% 上昇

Q14 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 10% 上昇した場合、ご家庭での照明の点灯時間を、あなたはどの程度控えますか？

[D] : 価格 2% 上昇

Q14 : 今後、電気の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭での照明の点灯時間を、あなたはどの程度控えますか？

[選択肢 (共通)]

- (1) かなり控える (10% よりも多く)
- (2) 控える (6 ~ 10% 程度)
- (3) すこし控える (1 ~ 5% 程度)
- (4) 今と変わらない
- (5) わからない

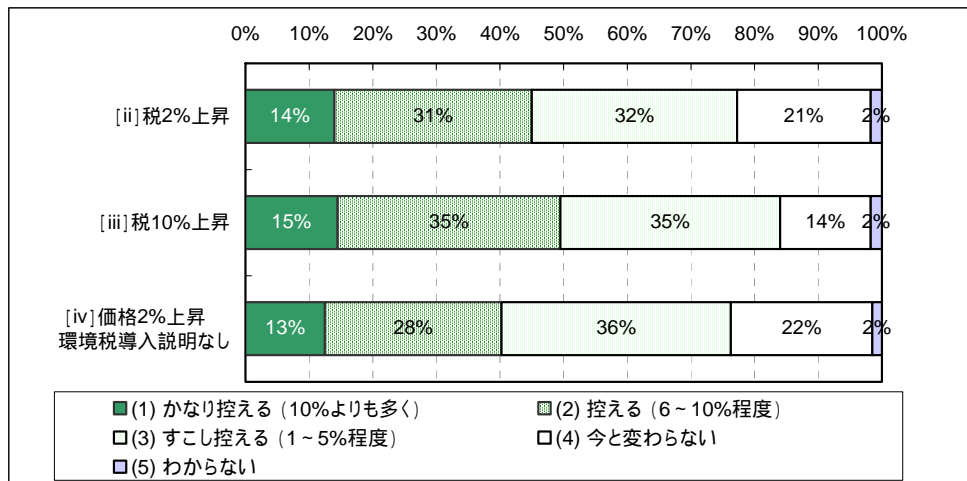
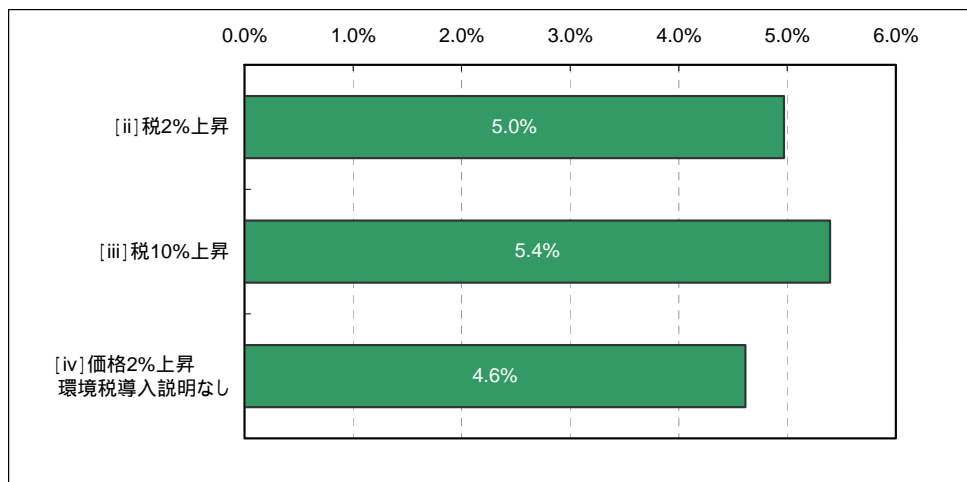


図 30. 照明使用の抑制



算定方法) 抑制期待率について「かなり控える」場合は12.5%、「控える」場合は7.5%、「すこし控える」場合は2.5%と想定。抑制率にそれぞれの回答率を掛け合わせ抑制期待率を算定。

図 31. 照明使用の抑制率

- ・ 「かなり控える」と回答した人は、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ(ii)では14%、エネルギー価格が10%上昇するグループ(iii)では15%である。抑制期待率ではiiの場合に5.0%、iiiの場合で5.4%である。低率の課税にはエネルギー価格の上昇率を上回る抑制期待率が現れる。そして、その割合は高率の課税の場合(iii)の抑制率と同程度である。
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合(ii)では抑制期待率は5.0%であり、そうでない場合(iv)は4.6%である。環境税グループ(ii)がそうでないグループ(iv)を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。

III-5 : 「テレビの視聴時間の抑制」に対する影響

【関連する設問】

[A] : 環境税課税なし
設問なし

[B] : 税 2% 上昇

Q15 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭でのテレビの視聴時間を、あなたはどの程度控えますか？

[C] : 税 10% 上昇

Q15 : 今後、環境税が導入され電気の価格が 10% 上昇した場合、ご家庭でのテレビの視聴時間を、あなたはどの程度控えますか？

[D] : 価格 2% 上昇

Q15 : 今後、電気の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭でのテレビの視聴時間を、あなたはどの程度控えますか？

[選択肢 (共通)]

- (1) かなり控える (10% よりも多く)
- (2) 控える (6 ~ 10% 程度)
- (3) すこし控える (1 ~ 5% 程度)
- (4) 今と変わらない
- (5) わからない
- (6) テレビを持っていない・持っているが使っていない

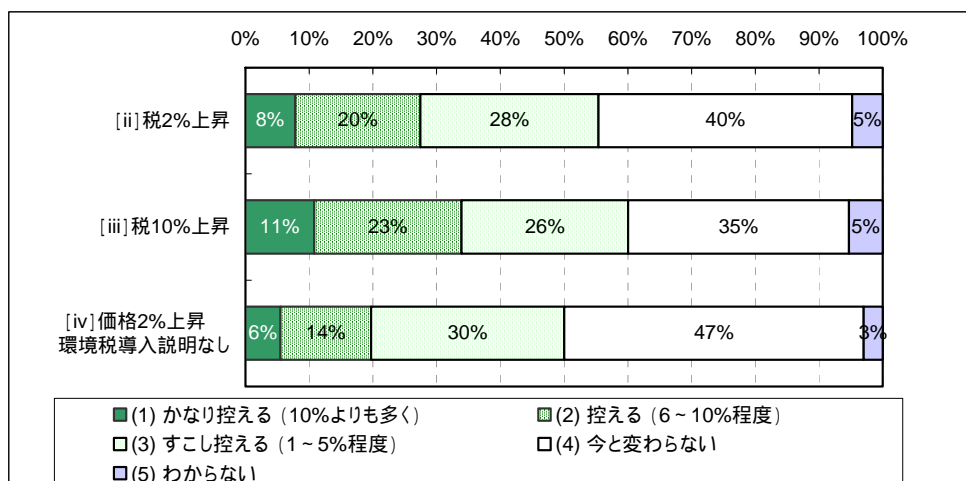
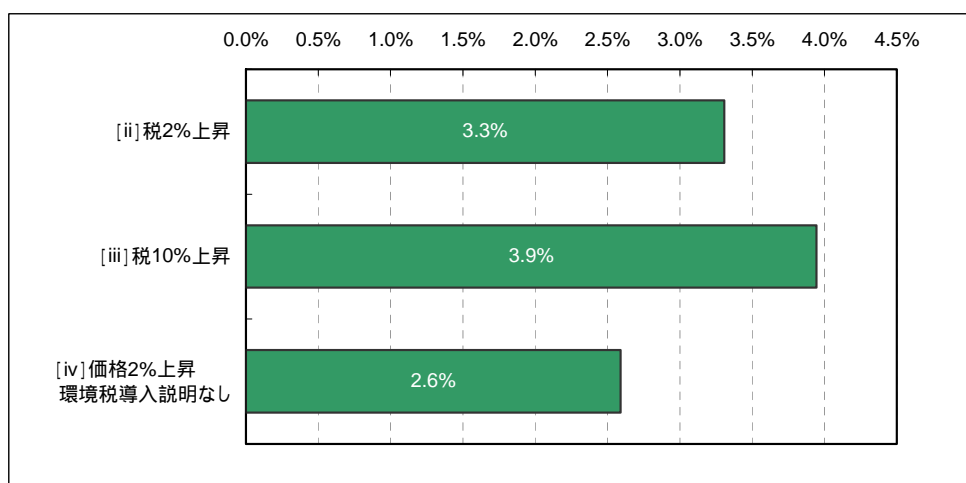


図 32. テレビ使用の抑制



算定方法) 抑制期待率について「かなり控える」場合は12.5%、「控える」場合は7.5%、「すこし控える」場合は2.5%と想定。抑制率にそれぞれの回答率を掛け合わせ抑制期待率を算定。

図 33. テレビ使用の抑制率

- ・ 「かなり控える」と回答した人は、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ(ii)では8%、エネルギー価格が10%上昇するグループ(iii)では11%である。抑制期待率ではiiの場合に3.3%、iiiの場合で3.9%である。抑制期待率は高率課税の場合(iii)が低率課税の場合(ii)を上回っているが、低率の課税の場合にはエネルギー価格の上昇率を上回る抑制率が現れている。
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合(ii)では抑制期待率は3.3%であり、そうでない場合(iv)は2.6%である。エネルギー価格上昇がテレビ使用の抑制行動を促進する効果に関し、環境税によるエネルギー価格の上昇と、その他の原因によるエネルギー価格の上昇とは異なる結果を示した。

III-6 : 「衣類乾燥機の使用の抑制」に対する影響

【関連する設問】

[A] : 環境税課税なし
設問なし

[B] : 税 2% 上昇

Q16 : 今後、環境税が導入され電気やガスの価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭での衣類乾燥機の使用を、あなたはどの程度控えますか？

[C] : 税 10% 上昇

Q16 : 今後、環境税が導入され電気やガスの価格が 10% 上昇した場合、ご家庭での衣類乾燥機の使用を、あなたはどの程度控えますか？

[D] : 価格 2% 上昇

Q16 : 今後、電気やガスの価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭での衣類乾燥機の使用を、あなたはどの程度控えますか？

[選択肢 (共通)]

- (1) かなり控える (10% よりも多く)
- (2) 控える (6 ~ 10% 程度)
- (3) すこし控える (1 ~ 5% 程度)
- (4) 今と変わらない
- (5) わからない
- (6) 衣類乾燥機を持っていない・持っているが使っていない

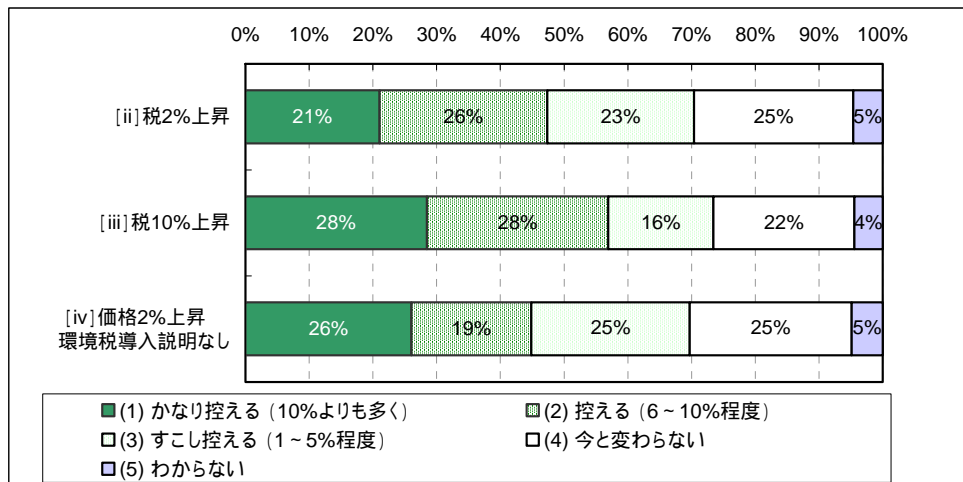
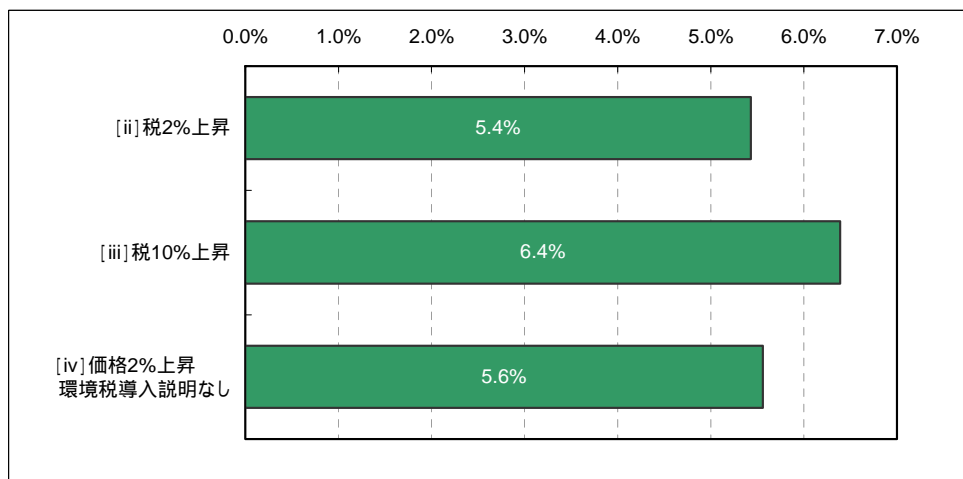


図 34. 衣類乾燥機使用の抑制



算定方法) 抑制期待率について「かなり控える」場合は12.5%、「控える」場合は7.5%、「すこし控える」場合は2.5%と想定。抑制率にそれぞれの回答率を掛け合わせ抑制期待率を算定。

図 35. 衣類乾燥機使用の抑制率

- ・ 「かなり控える」と回答した人は、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ(ii)では21%、エネルギー価格が10%上昇するグループ(iii)では28%である。抑制期待率ではiiの場合に5.4%、iiiの場合で6.4%である。抑制期待率は高率課税の場合(iii)が低率課税の場合(ii)を上回っているが、低率の課税の場合にはエネルギー価格の上昇率を上回る抑制率が現れている。
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合(ii)では抑制期待率は5.4%、そうでない場合(iv)は5.6%である。環境税グループ(ii)の方がそうでないグループ(iv)より抑制期待率は同程度である。

III-7：「乗用車の使用の抑制」に対する影響

【関連する設問】

[A]：環境税課税なし
設問なし

[B]：税 2% 上昇

Q17：今後、環境税が導入されガソリンや軽油の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭での乗用車の使用を、あなたはどの程度控えますか？

[C]：税 10% 上昇

Q17：今後、環境税が導入されガソリンや軽油の価格が 10% 上昇した場合、ご家庭での乗用車の使用を、あなたはどの程度控えますか？

[D]：価格 2% 上昇

Q17：今後、ガソリンや軽油の価格が 2 % 上昇した場合、ご家庭での乗用車の使用を、あなたはどの程度控えますか？

[選択肢（共通）]

- (1) かなり控える（10%よりも多く）
- (2) 控える（6～10%程度）
- (3) すこし控える（1～5%程度）
- (4) 今と変わらない
- (5) わからない
- (6) 乗用車を持っていない・持っているが自分では運転していない

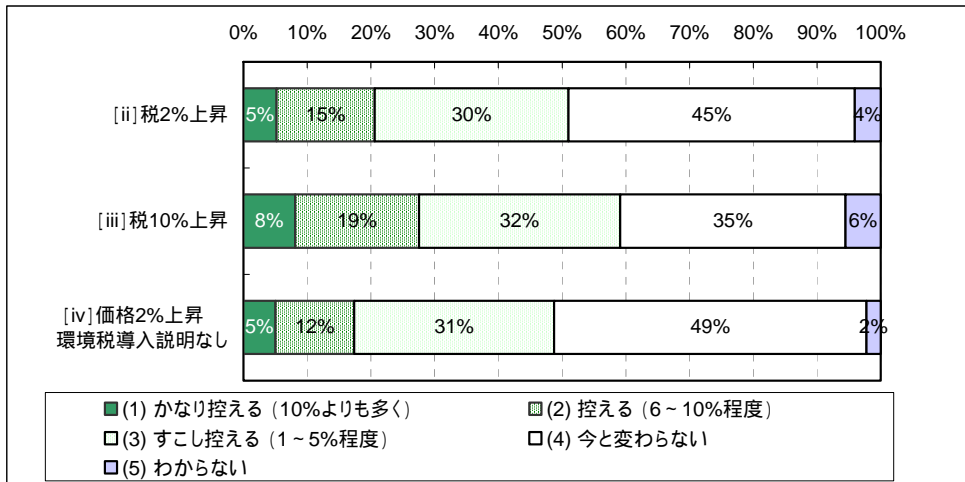


図 36. 乗用車使用の抑制

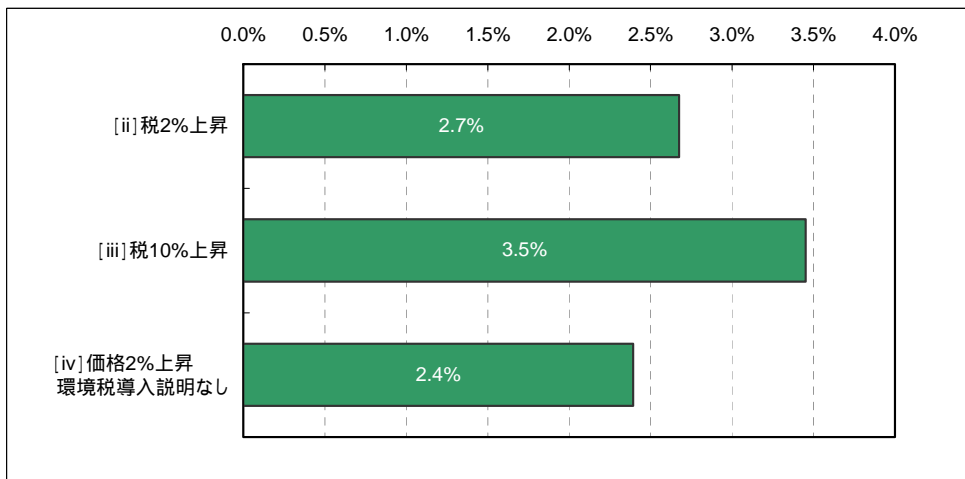


図 37. 乗用車使用の抑制率

- ・ 「かなり控える」と回答した人は、環境税に伴いエネルギー価格が2%上昇するグループ(B)では5%、エネルギー価格が10%上昇するグループ(C)では8%である。抑制期待率ではBの場合に2.7%、Cの場合で3.5%である。抑制期待率は高率課税の場合(iii)が低率課税の場合(ii)を上回っているが、低率の課税の場合にはエネルギー価格の上昇率を上回る抑制率が現れている。
- ・ エネルギー価格が2%上昇するグループ同士で比較した場合、環境税による場合(ii)では抑制期待率は2.7%であり、そうでない場合(iv)は2.4%である。環境税グループ(ii)がそうでないグループ(iv)を上回っているが、統計的に有意な差とは言い難い。

4. まとめ

(1) 環境税の効果

環境税（エネルギー価格 2%上昇または 10%上昇）によって、省エネ行動の選択の変化が有意に現れた対策と現れなかった対策を表 2 に示す。「心がけ対策の実行」「省エネ機器の選択」「エネルギー使用の抑制」の全ての分野において、環境税が導入された場合には、エネルギー価格 2%上昇とエネルギー価格 10%のいずれのケースにおいても、環境税が導入されない場合に較べて行動の変化が有意に現れた対策が多数存在する。

また、「エアコンフィルターの掃除」「省エネ型テレビの選択」「冬期のエアコン使用抑制」など 10 種の対策については、環境税の課税によってエネルギー価格が 2%上昇した場合の効果が、課税によってエネルギー価格が 10%上昇した場合とで統計的に有意な差がなく、同程度の効果が現れている。

これらの結果から、たとえエネルギー価格の上昇が 2%程度の低率の環境税であっても、省エネ行動を促進させるための十分な原動力を持つことが示唆された。

また、一部の対策については、環境税の課税によってエネルギー価格が 2%上昇した場合の効果が、課税によってエネルギー価格が 10%上昇した場合とで統計的に有意な差がなく、同程度の効果が現れており、環境税を認識して貰うことの方が効果が大きく働いた可能性があるが、この点については更なる分析が必要である。

(2) エネルギー価格の上昇の原因の差が行動に与える変化

エネルギー価格 2%上昇を想定した 2つのグループのうち、一方のグループには環境税の課税を明記し、もう一方のグループに対しては環境税については何も記載しないことにより、エネルギー価格の上昇の原因が環境税である場合とその他の原因による場合との差異の分析を試みた。その結果、環境税による価格上昇である旨を明記したグループの方が省エネ行動の選択率が有意に高くなるケースが存在する一方で、逆の傾向が有意に高まるケースは存在しなかった（表 3 参照）。これにより、エネルギー価格上昇の省エネ行動を促進する効果に関し、環境税によるエネルギー価格の上昇と、その他の原因によるエネルギー価格の上昇とは異なることが示唆された。なお、本分析では、環境税によって地球温暖化対策の必要性が認識されたためか、エネルギー価格の上昇が持続すると認識されたためかは明らかでないことに

留意する必要がある。

なお、今回の分析では、グループ間で地球環境問題に対する意識の差が見られ、意識の差が結果に影響した可能性があることについて留意が必要である。今後の課題として、地球環境問題に対する意識の差が、環境税が導入された場合の行動の変化にどのように現れるか等について、引き続き分析を深めることが考えられる。

表2 環境税が影響を及ぼした省エネ対策

	心がけ対策の実行	省エネ機器の選択	エネルギー使用の抑制
課税によって行動の変化が有意に現れた対策			
10%の効果 >2%の効果 ^{*1}	・タイヤの空気圧調整	・省エネ型エアコンの選択 (10%上昇) ^{*3}	・夏季のエアコン使用抑制 ・ストーブ・ファンヒーターの使用抑制 ・テレビの視聴時間抑制 ・衣類乾燥機の使用抑制 ・自動車の使用抑制
10%の効果 2%の効果 ^{*2}	・エアコンフィルターの掃除 ・エアコンのプラグ抜き ・冷蔵庫にものを詰め込すぎない ・節水シャワーヘッドの使用 ・アイドリングストップ	・省エネ型テレビの選択 ・省エネ型自動車の選択	・冬季のエアコン使用抑制 ・照明の使用抑制
課税によって行動の変化が有意に現れなかった対策		・省エネ型エアコンの選択 (2%上昇) ^{*3} ・省エネ型冷蔵庫の選択	

*1：課税によりエネルギー価格が10%上昇した場合に、課税によりエネルギー価格が2%上昇した場合と較べて10%水準で有意な差がある対策

*2：課税によりエネルギー価格が10%上昇した場合と、課税によりエネルギー価格が2%上昇した場合とで、10%水準で有意な差がない対策

*3：省エネ型エアコンは、課税によりエネルギー価格が10%上昇した場合には非課税の場合と較べて選択の変化が有意に現れたが、2%上昇した場合には有意な差は現れなかった。省エネ型冷蔵庫を除く対策については両課税パターンとも行動の変化が有意に現れた。

表3 エネルギー価格の上昇の原因の差が影響を及ぼした対策とそうでない対策

	心がけ対策の実行	省エネ機器の選択	需要の抑制
環境税の明記によって行動の変化が有意に現れた対策	・エアコンのプラグ抜き		・冬季のエアコン使用抑制 ・テレビ視聴時間抑制
環境税を明記した場合の方が省エネ行動の選択率が高まったが、変化量が統計的に有意でなかった対策	・エアコンフィルターの掃除 ・冷蔵庫にものを詰め込すぎない ・節水シャワーヘッドの使用 ・タイヤの空気圧調整	・省エネ型エアコンの選択 ・省エネ型テレビの選択 ・省エネ型自動車の選択	・夏季のエアコン使用抑制 ・照明の使用抑制 ・自動車の使用抑制
環境税を明記しなかった場合の方が省エネ行動の選択率が高まったが、変化量が統計的に有意でなかった対策	・アイドリングストップ	・省エネ型冷蔵庫の選択	・ストーブ・ファンヒーターの使用抑制 ・衣類乾燥機の使用抑制

参考 : 「心がけ対策」における省エネ行動へのシフト率について

ここでは「心がけ対策」における省エネ行動へのシフト率について「エアコン フィルターの掃除」を例に説明する。

日頃と今後の行動に関する選択パターンは表1のような行列の形式で整理できる。例えば、 X_{21} は日頃の行動については「(2) 2ヶ月に一度は掃除」を選択し、今後の行動については「(1) 2週間に一度は掃除」を選択した人の人数を表す。行列のすべての要素を合計するとグループの人数（本調査では400人）になる。

参考表 I-1 日頃と今後の行動に関する選択パターン

		今後の行動					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
日頃の行動	(1) 2週間に一度は掃除	X_{11}	X_{12}	X_{13}	X_{14}	X_{15}	X_{16}
	(2) 2ヶ月に一度は掃除	X_{21}	X_{22}	X_{23}	X_{24}	X_{25}	X_{26}
	(3) 半年に一度は掃除	X_{31}	X_{32}	X_{33}	X_{34}	X_{35}	X_{36}
	(4) ほとんど掃除しない	X_{41}	X_{42}	X_{43}	X_{44}	X_{45}	X_{46}
	(5) わからない	X_{51}	X_{52}	X_{53}	X_{54}	X_{55}	X_{56}
	(6) 持ってない等	X_{61}	X_{62}	X_{63}	X_{64}	X_{65}	X_{66}

省エネ行動へのシフト率、および「(1) 2週間に一度は掃除」へのシフト率は、それぞれ以下の式で算定する。

$$\text{省エネ行動へのシフト率} = \frac{\text{省エネ行動へシフトした人数}}{\text{省エネ行動へシフトする余地があった人数}}$$

$$\text{「(1) 2週間に一度は掃除」へのシフト率} = \frac{\text{「2週間に一度は掃除」へシフトした人数}}{\text{省エネ行動へシフトする余地があった人数}}$$

ここで、分子の省エネ行動へシフトした人数とは、日頃の行動よりも今後の行動の方が省エネになる行動を選択した人（例えば、日頃の行動で(3)を選択した場合には、今後の行動で(1)か(2)を選択した人）の人数であり、表I-1の網掛け部分($X_{21} + X_{31} + X_{41} + X_{51} + X_{32} + X_{42} + X_{52} + X_{43} + X_{53}$)がこれに相当する。また、「(1) 2週間に一度は掃除」へシフトした人数は省エネ行動にシフトした人のうち、今後の行動において「(1) 2週間に一度は掃除」を選択した人 ($X_{21} + X_{31} + X_{41} + X_{51}$) で、ある。

分母の省エネ行動にシフトする余地があった人数は、日頃の行動で(2)～(5)を選択した人の人数であり、表I-1の太枠で囲んだ部分に相当する。

なお、ごく小数ではあるが、日頃の行動で(6)を選択し、今後の行動で(1)～(5)を選択した人や、その逆に、日頃の行動で(1)～(5)を選択し、今後の行動で(6)を選択した人が存在したが、これらの回答は無効とみなし、分子や分母に含めないこととした。

参考 : グループ間の差に関する検定結果

参考 表 II-1 . 比率の検定 (心がけ対策)

行動		比較 標本	検定値*1	P 値	有意差検定	
					P<5%	P<10%
エアコンを使う季節には、 フィルターをこまめに清掃 する	省エネ行動へシフト	ii - i	4.77	0%	有	有
		iii - i	5.24	0%	有	有
		iii - ii	0.47	64%	無	無
		ii - iv	0.51	61%	無	無
	「(1) 2週間に一度」へ	ii - i	3.37	0%	有	有
		iii - i	4.12	0%	有	有
		iii - ii	0.80	42%	無	無
		ii - iv	0.90	37%	無	無
エアコンを使わない季節は コンセントからプラグを抜 く	省エネ行動へシフト	ii - i	7.51	0%	有	有
		iii - i	7.15	0%	有	有
		iii - ii	-0.42	67%	無	無
		ii - iv	3.32	0%	有	有
	「(1) 必ず実行している」 へ	ii - i	6.06	0%	有	有
		iii - i	5.91	0%	有	有
		iii - ii	-0.18	86%	無	無
		ii - iv	3.09	0%	有	有
冷蔵庫にものを詰め込みす ぎず、余裕のある状態を保 つ	省エネ行動へシフト	ii - i	2.34	2%	有	有
		iii - i	3.00	0%	有	有
		iii - ii	0.69	49%	無	無
		ii - iv	0.11	91%	無	無
	「(1) いつも余裕のある 状態を保っている」へ	ii - i	1.17	24%	無	無
		iii - i	1.28	20%	無	無
		iii - ii	0.12	91%	無	無
		ii - iv	0.43	67%	無	無
シャワーヘッドを節水タイ プにする	省エネ行動へシフト = 「(2) 今後は節水型に変 える」へ	ii - i	3.59	0%	有	有
		iii - i	3.93	0%	有	有
		iii - ii	0.32	75%	無	無
		ii - iv	0.96	34%	無	無
		ii - i	4.91	0%	有	有
駐停車中に自動車のアイド リングはしない	省エネ行動へシフト	iii - i	4.42	0%	有	有
		iii - ii	-0.52	60%	無	無
		ii - iv	0.88	38%	無	無
		ii - i	4.08	0%	有	有
	「(1) 必ず実行している」 へ	iii - i	4.13	0%	有	有
		iii - ii	0.07	95%	無	無
		ii - iv	0.13	89%	無	無
		ii - i	4.28	0%	有	有
自動車のタイヤの空気圧を 調整する	省エネ行動へシフト	iii - i	6.19	0%	有	有
		iii - ii	2.07	2%	有	有
		ii - iv	1.10	14%	無	無
		ii - i	4.40	0%	有	有
	「(1) 2週間に一度」へ	iii - i	5.81	0%	有	有
		iii - ii	1.66	10%	無	有
		ii - iv	0.85	40%	無	無

*1 検定値 : $Z = (p_1 - p_2) / \sqrt{\bar{p}(1 - \bar{p})(1/n_1 + 1/n_2)}$,

p_1, p_2 : サンプル 1, 2 における比率

n_1, n_2 : サンプル 1, 2 の数

\bar{p} : p_1, p_2 の加重平均

参考 表 II-2 . 比率の検定 (機器の購入)

行動		比較標本	検定値*1	P 値	有意差検定	
					P<5%	P<10%
省エネ型エアコンの購入	「Bを購入」 + 「どちらかと言えばBを購入」	ii - i	0.56	57%	無	無
		iii - i	2.40	2%	有	有
		iii - ii	1.84	7%	無	有
		ii - iv	0.14	89%	無	無
省エネ型冷蔵庫の購入	「Bを購入」 + 「どちらかと言えばBを購入」	ii - i	-0.19	85%	無	無
		iii - i	0.96	33%	無	無
		iii - ii	1.15	25%	無	無
		ii - iv	1.03	30%	無	無
省エネ型テレビの購入	「Bを購入」 + 「どちらかと言えばBを購入」	ii - i	1.91	6%	無	有
		iii - i	1.76	8%	無	有
		iii - ii	-0.15	88%	無	無
		ii - iv	0.71	48%	無	無
省エネ型乗用車の購入	「Bを購入」 + 「どちらかと言えばBを購入」	ii - i	2.21	3%	有	有
		iii - i	3.29	0%	有	有
		iii - ii	1.10	28%	無	無
		ii - iv	-0.95	34%	無	無

*1 検定値 : $Z = (p_1 - p_2) / \sqrt{\bar{p}(1 - \bar{p})(1/n_1 + 1/n_2)}$,

p_1, p_2 : サンプル 1, 2 における比率

n_1, n_2 : サンプル 1, 2 の数

\bar{p} : p_1, p_2 の加重平均

参考 表 II-3 . 平均値の検定 (エネルギーの使用の抑制)

対策	比較標本	F 検定		有意差検定 (t 検定)		
		P 値	分散	P 値	P<5%	P<10%
夏季におけるエアコンの使用時間や冷房強度の抑制	iii - ii	17%	同	8%	無	有
	iv - ii	20%	同	54%	無	無
冬季におけるエアコンの使用時間や暖房強度の抑制	iii - ii	82%	同	98%	無	無
	iv - ii	77%	同	7%	無	有
ストーブやファンヒーターの使用の抑制	iii - ii	52%	同	5%	有	有
	iv - ii	83%	同	83%	無	無
照明の点灯時間の抑制	iii - ii	45%	同	15%	無	無
	iv - ii	63%	同	23%	無	無
テレビの視聴時間の抑制	iii - ii	19%	同	3%	有	有
	iv - ii	2%	異	1%	有	有
衣類乾燥機の使用の抑制	iii - ii	70%	同	9%	有	無
	iv - ii	52%	同	82%	無	無
乗用車の使用の抑制	iii - ii	8%	同	1%	有	有
	iv - ii	1%	異	29%	無	無

参考 : エネルギー価格の上昇に伴う省エネ行動の変化
[地球環境問題に対する意識別]

I. 「心がけ」編

Q1/Q18

エアコンの掃除		今後の行動												
		意識あり					意識無し							
		2週間に1度は掃除	2ヶ月に1度は掃除	半年に1度は掃除	殆ど掃除しない	わからない	持っていない等	2週間に1度は掃除	2ヶ月に1度は掃除	半年に1度は掃除	殆ど掃除しない	わからない	持っていない等	
現在の行動	税なし	2週間に1度は掃除	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	92.9	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
	2ヶ月に1度は掃除	8.5	83.1	5.1	1.7	1.7	0.0	9.8	82.0	6.6	1.6	0.0	0.0	
	半年に1度は掃除	0.0	23.6	69.1	5.5	1.8	0.0	1.3	15.8	77.6	5.3	0.0	0.0	
	殆ど掃除しない	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	2.3	11.6	81.4	2.3	2.3	
	わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	持っていない等	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	94.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	税2%上昇	2週間に1度は掃除	94.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2ヶ月に1度は掃除	14.3	79.6	6.1	0.0	0.0	0.0	25.0	71.9	1.6	0.0	1.6	0.0	
	半年に1度は掃除	4.3	27.7	63.8	2.1	2.1	0.0	8.3	25.0	55.6	5.6	4.2	1.4	
	殆ど掃除しない	0.0	0.0	33.3	50.0	5.6	11.1	3.7	13.0	22.2	42.6	14.8	3.7	
	わからない	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	
	持っていない等	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	87.5	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0	90.3	
	税10%上昇	2週間に1度は掃除	95.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	96.3	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	2ヶ月に1度は掃除	18.9	73.0	8.1	0.0	0.0	0.0	26.6	62.5	4.7	1.6	1.6	3.1	
	半年に1度は掃除	10.4	25.0	58.3	0.0	4.2	2.1	7.4	28.4	57.9	2.1	4.2	0.0	
	殆ど掃除しない	20.0	20.0	30.0	30.0	0.0	0.0	3.6	8.9	17.9	62.5	7.1	0.0	
	わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	持っていない等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	93.3	
	価格2%上昇	2週間に1度は掃除	91.7	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	87.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2ヶ月に1度は掃除	21.3	70.2	6.4	0.0	0.0	2.1	20.0	76.0	4.0	0.0	0.0	0.0	
	半年に1度は掃除	6.3	37.5	41.7	2.1	8.3	4.2	2.2	24.7	62.4	3.2	5.4	2.2	
	殆ど掃除しない	11.8	11.8	29.4	41.2	5.9	0.0	0.0	5.7	15.1	69.8	9.4	0.0	
	わからない	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	
	持っていない等	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

Q2/Q19

エアコンのコンセント抜き		今後の行動										
		意識あり					意識なし					
		必ず実行する	ときどき実行する	殆ど実行しない	わからない	持っていない	必ず実行する	ときどき実行する	殆ど実行しない	わからない	持っていない	
現在の行動	税なし	必ず実行する	97.3	2.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ときどき実行する	36.7	60.0	3.3	0.0	0.0	15.6	81.3	3.1	0.0	0.0	
	殆ど実行しない	12.3	7.0	75.4	5.3	0.0	5.8	3.8	84.6	5.8	0.0	
	わからない	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	持っていない	7.7	0.0	0.0	0.0	92.3	0.0	0.0	5.3	0.0	94.7	
	税2%上昇	必ず実行する	93.4	3.3	3.3	0.0	0.0	98.9	1.1	0.0	0.0	0.0
	ときどき実行する	47.2	50.0	2.8	0.0	0.0	61.1	33.3	5.6	0.0	0.0	
	殆ど実行しない	47.8	15.2	23.9	13.0	0.0	20.7	19.6	42.4	16.3	1.1	
	わからない	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3	
	持っていない	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	11.1	0.0	0.0	5.6	83.3	
	税10%上昇	必ず実行する	95.4	4.6	0.0	0.0	0.0	98.8	1.2	0.0	0.0	0.0
	ときどき実行する	23.5	52.9	17.6	5.9	0.0	55.1	34.7	8.2	2.0	0.0	
	殆ど実行しない	47.2	19.4	30.6	2.8	0.0	28.4	14.7	44.0	12.9	0.0	
	わからない	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	持っていない	14.3	0.0	0.0	14.3	71.4	13.6	0.0	0.0	4.5	81.8	
	価格2%上昇	必ず実行する	96.1	2.6	1.3	0.0	0.0	90.4	8.4	1.2	0.0	0.0
	ときどき実行する	43.8	50.0	0.0	6.3	0.0	46.4	42.9	10.7	0.0	0.0	
	殆ど実行しない	31.9	10.6	40.4	17.0	0.0	12.4	13.3	65.5	8.8	0.0	
	わからない	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	
	持っていない	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0	10.5	89.5	

Q3/Q20

冷蔵庫の詰め具合		今後の行動										
		意識あり					意識なし					
		いつも 余裕あり	時々 目一杯	常に 目一杯	わか らない	持っ てい ない 等	いつも 余裕あり	時々 目一杯	常に 目一杯	わか らない	持っ てい ない 等	
現在の行動	税なし	いつも余裕あり	90.9	5.5	1.8	0.0	1.8	96.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	税なし	時々目一杯	18.7	78.5	2.8	0.0	0.0	9.1	88.8	1.4	0.7	0.0
	税なし	常に目一杯	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0	11.5	7.7	76.9	3.8	0.0
	税なし	わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	税なし	持っていない等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	税2%上昇	いつも余裕あり	88.2	7.8	0.0	3.9	0.0	94.2	1.9	0.0	3.8	0.0
	税2%上昇	時々目一杯	19.1	79.8	0.0	1.1	0.0	15.3	75.7	0.7	8.3	0.0
	税2%上昇	常に目一杯	14.3	50.0	35.7	0.0	0.0	3.1	28.1	53.1	15.6	0.0
	税2%上昇	わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	16.7	0.0	58.3	0.0
	税2%上昇	持っていない等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	税10%上昇	いつも余裕あり	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.9	5.4	0.0	2.7	0.0
	税10%上昇	時々目一杯	24.3	72.9	0.0	2.9	0.0	16.3	76.9	1.9	5.0	0.0
	税10%上昇	常に目一杯	0.0	64.3	35.7	0.0	0.0	3.4	44.8	41.4	10.3	0.0
	税10%上昇	わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	80.0	0.0
	税10%上昇	持っていない等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	価格2%上昇	いつも余裕あり	91.5	4.3	0.0	4.3	0.0	98.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	価格2%上昇	時々目一杯	21.2	72.9	2.4	3.5	0.0	15.2	76.8	2.6	5.3	0.0
	価格2%上昇	常に目一杯	11.8	35.3	52.9	0.0	0.0	0.0	35.1	59.5	5.4	0.0
	価格2%上昇	わからない	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	11.1	11.1	77.8	0.0
	価格2%上昇	持っていない等	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q4/Q21

シャワーヘッド		今後の行動										
		意識あり					意識なし					
		既に 節水	今後 は節 水	節水 じゃ ない	わか らな い	持っ てい ない 等	既に 節水	今後 は節 水	節水 じゃ ない	わか らな い	持っ てい ない 等	
現在の行動	税なし	既に節水	96.2	1.9	0.0	1.9	0.0	95.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	税なし	節水じゃない	1.1	60.9	19.5	18.4	0.0	0.0	24.1	46.7	29.2	0.0
	税なし	わからない	0.0	0.0	3.7	96.3	0.0	2.8	8.3	5.6	83.3	0.0
	税なし	持っていない等	0.0	0.0	10.0	10.0	80.0	0.0	0.0	0.0	18.2	81.8
	税2%上昇	既に節水	97.5	2.5	0.0	0.0	0.0	86.0	7.0	4.7	2.3	0.0
	税2%上昇	節水じゃない	3.1	58.8	10.3	27.8	0.0	0.6	42.9	24.4	32.1	0.0
	税2%上昇	わからない	0.0	22.2	11.1	66.7	0.0	4.3	17.4	13.0	65.2	0.0
	税2%上昇	持っていない等	0.0	23.1	0.0	7.7	69.2	0.0	0.0	5.3	10.5	84.2
	税10%上昇	既に節水	94.3	2.9	0.0	2.9	0.0	95.7	4.3	0.0	0.0	0.0
	税10%上昇	節水じゃない	0.0	53.9	18.4	27.6	0.0	0.5	46.7	17.0	35.7	0.0
	税10%上昇	わからない	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	4.2	70.8	0.0
	税10%上昇	持っていない等	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	9.5	0.0	23.8	66.7
	価格2%上昇	既に節水	89.7	10.3	0.0	0.0	0.0	92.5	1.9	1.9	3.8	0.0
	価格2%上昇	節水じゃない	0.0	59.6	19.2	21.2	0.0	0.6	32.9	36.6	29.8	0.0
	価格2%上昇	わからない	0.0	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0	28.0	16.0	56.0	0.0
	価格2%上昇	持っていない等	0.0	0.0	0.0	14.3	85.7	12.5	12.5	0.0	25.0	50.0

Q5/Q22

アイドリングストップ		今後の行動											
		意識あり					意識なし						
		必ず 実行 する	とき どき 実行 する	全く 実行 しない	わか らな い	持っ てい ない	必ず 実行 する	とき どき 実行 する	全く 実行 しない	わか らな い	持っ てい ない		
現在の 行動	税 なし	必ず実行する	94.4	2.8	1.4	0.0	1.4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	税 なし	ときどき実行する	10.1	88.4	1.4	0.0	0.0	8.1	87.2	2.3	2.3	0.0	0.0
	税 なし	全く実行しない	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	19.6	68.6	11.8	0.0	0.0
	税 なし	わからない	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	税 なし	持っていない	3.8	3.8	3.8	0.0	88.5	7.7	2.6	0.0	2.6	87.2	0.0
	税 2% 上昇	必ず実行する	84.3	7.8	2.0	3.9	2.0	92.7	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0
	税 2% 上昇	ときどき実行する	41.3	55.6	0.0	3.2	0.0	18.0	74.2	0.0	7.9	0.0	0.0
	税 2% 上昇	全く実行しない	0.0	57.1	14.3	28.6	0.0	1.7	30.5	40.7	27.1	0.0	0.0
	税 2% 上昇	わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0
	税 2% 上昇	持っていない	0.0	6.5	3.2	0.0	90.3	12.9	6.5	3.2	6.5	71.0	0.0
	税 10% 上昇	必ず実行する	96.2	3.8	0.0	0.0	0.0	91.8	6.6	0.0	1.6	0.0	0.0
	税 10% 上昇	ときどき実行する	31.1	68.9	0.0	0.0	0.0	25.7	67.6	1.0	5.7	0.0	0.0
	税 10% 上昇	全く実行しない	0.0	15.4	46.2	38.5	0.0	6.8	30.5	39.0	23.7	0.0	0.0
	税 10% 上昇	わからない	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0
	税 10% 上昇	持っていない	6.7	13.3	0.0	0.0	80.0	4.8	4.8	2.4	4.8	83.3	0.0
	価 格 2% 上昇	必ず実行する	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7	6.3	0.0	2.1	0.0	0.0
	価 格 2% 上昇	ときどき実行する	27.6	63.8	6.9	1.7	0.0	26.2	63.1	2.9	7.8	0.0	0.0
	価 格 2% 上昇	全く実行しない	9.5	23.8	28.6	38.1	0.0	3.1	25.0	60.9	10.9	0.0	0.0
	価 格 2% 上昇	わからない	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	12.5	0.0	12.5	75.0	0.0	0.0
	価 格 2% 上昇	持っていない	5.0	0.0	0.0	0.0	95.0	4.2	4.2	0.0	0.0	91.7	0.0

Q6/Q23

タイヤ圧確認		今後の行動											
		意識あり					意識なし						
		1ヶ月 に1度	半年 に1度	殆ど 調整 しない	わか らな い	持っ てい ない 等	1ヶ月 に1度	半年 に1度	殆ど 調整 しない	わか らな い	持っ てい ない 等		
現在の 行動	税 なし	1ヶ月に1度	97.1	2.9	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	税 なし	半年に1度	0.0	97.8	1.1	1.1	0.0	4.1	93.8	1.0	0.0	1.0	0.0
	税 なし	殆ど調整しない	4.3	17.4	73.9	4.3	0.0	0.0	16.7	79.6	3.7	0.0	0.0
	税 なし	わからない	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	12.5	12.5	75.0	0.0	0.0
	税 なし	持っていない等	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	3.0	3.0	0.0	93.9	0.0
	税 2% 上昇	1ヶ月に1度	97.1	0.0	0.0	0.0	2.9	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	税 2% 上昇	半年に1度	18.2	79.2	1.3	1.3	0.0	11.7	82.9	2.7	2.7	0.0	0.0
	税 2% 上昇	殆ど調整しない	7.7	53.8	23.1	15.4	0.0	6.1	21.2	48.5	24.2	0.0	0.0
	税 2% 上昇	わからない	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	8.3	25.0	25.0	41.7	0.0	0.0
	税 2% 上昇	持っていない等	0.0	12.5	3.1	0.0	84.4	3.3	6.7	0.0	6.7	83.3	0.0
	税 10% 上昇	1ヶ月に1度	92.9	7.1	0.0	0.0	0.0	92.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	税 10% 上昇	半年に1度	26.2	70.5	0.0	3.3	0.0	19.7	77.4	1.5	1.5	0.0	0.0
	税 10% 上昇	殆ど調整しない	5.9	52.9	23.5	17.6	0.0	6.5	30.6	32.3	30.6	0.0	0.0
	税 10% 上昇	わからない	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	20.0	0.0	70.0	10.0	0.0
	税 10% 上昇	持っていない等	0.0	5.9	0.0	0.0	94.1	0.0	7.7	0.0	5.1	87.2	0.0
	価 格 2% 上昇	1ヶ月に1度	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0	96.6	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	価 格 2% 上昇	半年に1度	18.6	77.1	2.9	1.4	0.0	11.3	79.1	6.1	3.5	0.0	0.0
	価 格 2% 上昇	殆ど調整しない	3.7	29.6	51.9	14.8	0.0	1.5	16.4	64.2	17.9	0.0	0.0
	価 格 2% 上昇	わからない	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	10.0	20.0	70.0	0.0	0.0
	価 格 2% 上昇	持っていない等	0.0	0.0	0.0	4.8	95.2	0.0	0.0	3.8	11.5	84.6	0.0

II. 「機器選択」

Q7

エアコンの買換え	意識あり							意識無し						
	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	わからない	持っていない等	総計	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	わからない	持っていない等	総計
ii)税なし	6.2	11.1	35.8	39.8	1.3	5.8	100.0	8.6	24.7	31.0	26.4	4.0	5.2	100.0
iii)税2%上昇	2.2	9.3	36.0	42.2	3.1	7.1	100.0	8.6	22.3	34.9	21.7	6.9	5.7	100.0
iiii)税10%上昇	3.7	9.6	32.1	49.2	2.1	3.2	100.0	4.7	16.4	45.5	24.4	2.3	6.6	100.0
iv)価格2%上昇	5.0	10.4	41.1	36.1	2.0	5.4	100.0	8.1	20.2	31.8	29.3	5.6	5.1	100.0
計	4.3	10.1	36.3	41.7	2.1	5.5	100.0	7.4	20.7	36.2	25.5	4.6	5.7	100.0

Q8

冷蔵庫の買換え	意識あり							意識無し						
	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	わからない	持っていない等	総計	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	わからない	持っていない等	総計
ii)税なし	4.0	4.4	32.3	58.0	0.9	0.4	100.0	4.6	13.2	33.9	46.0	2.3	0.0	100.0
iii)税2%上昇	1.8	4.4	31.1	60.9	1.8	0.0	100.0	5.1	11.4	42.3	34.9	6.3	0.0	100.0
iiii)税10%上昇	2.1	4.8	29.9	63.1	0.0	0.0	100.0	2.3	10.3	42.3	41.8	3.3	0.0	100.0
iv)価格2%上昇	2.0	4.0	38.1	55.0	0.5	0.5	100.0	3.0	10.6	29.8	52.5	4.0	0.0	100.0
計	2.5	4.4	32.9	59.2	0.8	0.2	100.0	3.7	11.3	37.1	43.9	3.9	0.0	100.0

Q9

テレビの買換え	意識あり							意識無し						
	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	わからない	持っていない等	総計	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	わからない	持っていない等	総計
ii)税なし	8.4	11.1	32.7	45.6	2.2	0.0	100.0	10.3	20.7	29.9	33.3	5.7	0.0	100.0
iii)税2%上昇	2.2	8.4	31.1	56.0	2.2	0.0	100.0	9.7	17.1	35.4	29.1	7.4	1.1	100.0
iiii)税10%上昇	3.7	10.2	24.1	56.1	5.3	0.5	100.0	4.2	13.1	37.6	36.6	8.5	0.0	100.0
iv)価格2%上昇	3.5	7.4	38.1	45.5	5.4	0.0	100.0	7.6	16.2	25.3	41.9	9.1	0.0	100.0
計	4.5	9.3	31.7	50.7	3.7	0.1	100.0	7.8	16.6	32.1	35.5	7.8	0.3	100.0

Q10

乗用車の買換え	意識あり							意識無し						
	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	わからない	持っていない等	総計	A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B	わからない	持っていない等	総計
ii)税なし	5.8	15.0	31.9	33.6	4.9	8.8	100.0	9.8	23.6	21.8	24.1	16.1	4.6	100.0
iii)税2%上昇	3.1	6.7	26.7	43.1	8.0	12.4	100.0	8.6	17.1	30.3	22.9	15.4	5.7	100.0
iiii)税10%上昇	3.2	8.0	32.6	42.2	7.0	7.0	100.0	7.0	14.1	30.0	29.6	9.9	9.4	100.0
iv)価格2%上昇	5.0	8.9	29.7	36.6	10.9	8.9	100.0	5.6	20.2	31.3	26.3	14.1	2.5	100.0
計	4.3	9.8	30.1	38.8	7.6	9.4	100.0	7.6	18.6	28.6	25.9	13.7	5.7	100.0

III. 「使用抑制」

Q11

夏季のエアコンの利用	意識あり							意識無し						
	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計
ii) 税なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
iii) 税2%上昇	29.6	28.3	24.5	4.4	1.3	11.9	100.0	12.9	24.5	35.7	15.4	2.5	9.1	100.0
iiii) 税10%上昇	28.3	38.6	22.0	3.1	1.6	6.3	100.0	14.7	35.9	28.2	9.9	2.2	9.2	100.0
iv) 価格2%上昇	24.8	35.3	31.4	2.6	0.7	5.2	100.0	10.9	29.1	37.2	14.2	0.8	7.7	100.0
計	19.7	24.1	18.7	2.4	0.8	5.7	100.0	9.9	23.2	25.9	10.1	1.4	6.7	100.0

Q12

冬季のエアコンの利用	意識あり							意識無し						
	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計
ii) 税なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
iii) 税2%上昇	30.2	26.4	19.5	2.5	0.6	20.8	100.0	17.8	25.3	19.1	10.8	2.1	24.9	100.0
iiii) 税10%上昇	29.9	32.3	17.3	3.9	0.0	16.5	100.0	19.4	26.0	20.1	9.5	2.2	22.7	100.0
iv) 価格2%上昇	31.4	30.1	21.6	3.9	0.7	12.4	100.0	17.0	19.8	31.6	12.6	1.6	17.4	100.0
計	21.8	21.0	14.0	2.4	0.3	11.9	100.0	14.0	18.4	18.2	8.4	1.5	16.8	100.0

Q13

ストーブ・ファンヒータの使用	意識あり							意識無し						
	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計
ii) 税なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
iii) 税2%上昇	15.1	30.2	34.0	10.1	0.6	10.1	100.0	5.4	21.6	34.4	22.4	2.5	13.7	100.0
iiii) 税10%上昇	22.0	37.0	22.8	10.2	0.8	7.1	100.0	8.1	24.9	37.0	16.8	3.7	9.5	100.0
iv) 価格2%上昇	19.0	32.0	30.1	7.2	0.7	11.1	100.0	4.9	17.4	45.7	18.6	1.2	12.1	100.0
計	13.2	23.4	21.0	6.5	0.5	6.8	100.0	4.8	16.5	30.2	14.8	1.9	9.0	100.0

Q14

照明の点灯時間	意識あり						意識無し					
	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	総計	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	総計	
ii) 税なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
iii) 税2%上昇	18.9	44.0	23.9	12.6	0.6	100.0	10.8	22.4	37.8	26.6	2.5	100.0
iiii) 税10%上昇	25.2	31.5	36.2	7.1	0.0	100.0	9.5	36.6	33.7	17.6	2.6	100.0
iv) 価格2%上昇	20.9	36.6	27.5	14.4	0.7	100.0	7.3	22.3	41.3	27.1	2.0	100.0
計	15.3	27.0	20.5	8.3	0.3	100.0	7.1	21.2	28.9	18.2	1.8	100.0

Q15

テレビの視聴時間	意識あり							意識無し						
	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計
ii) 税なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
iii) 税2%上昇	11.3	27.7	32.7	26.4	1.9	0.0	100.0	5.4	14.1	24.5	48.1	6.6	1.2	100.0
iiii) 税10%上昇	15.7	24.4	24.4	29.1	4.7	1.6	100.0	8.4	22.3	26.7	37.0	5.5	0.0	100.0
iv) 価格2%上昇	11.1	19.6	35.9	32.0	1.3	0.0	100.0	2.0	10.9	26.7	56.3	4.0	0.0	100.0
計	8.9	17.1	22.4	20.8	1.8	0.3	100.0	4.2	12.4	20.1	36.1	4.2	0.3	100.0

Q16

衣類乾燥機の使用	意識あり							意識無し						
	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計
ii) 税なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
iii) 税2%上昇	11.9	11.3	9.4	3.8	0.0	63.5	100.0	5.4	9.1	8.3	13.3	2.9	61.0	100.0
iiii) 税10%上昇	15.0	11.8	7.1	5.5	0.0	60.6	100.0	9.5	11.0	6.2	10.3	2.6	60.4	100.0
iv) 価格2%上昇	17.0	8.5	12.4	4.6	0.7	56.9	100.0	6.9	7.3	8.9	14.2	2.8	59.9	100.0
計	10.4	7.5	7.0	3.3	0.2	43.1	100.0	5.7	7.1	6.0	9.6	2.1	46.7	100.0

Q17

乗用車の使用	意識あり							意識無し						
	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計	かなり控える	控える	少し控える	変わらない	わからない	持っていない等	総計
ii)税なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
iii)税2%上昇	6.9	18.9	28.3	25.2	1.9	18.9	100.0	2.9	9.5	24.9	47.7	4.6	10.4	100.0
iii)税10%上昇	14.2	28.3	18.9	23.6	0.8	14.2	100.0	3.7	11.4	31.1	33.7	6.6	13.6	100.0
iv)価格2%上昇	8.5	16.3	33.3	28.8	0.7	12.4	100.0	2.0	7.7	24.7	53.0	2.8	9.7	100.0
計	6.8	14.8	19.5	18.5	0.8	10.9	100.0	2.2	7.4	20.9	34.3	3.7	8.7	100.0